

14-227



1200701592567

14

227



始



工 T 58

14

227

哲學部第十二學年度
高年級 教學科講義錄

佛教哲學

第五冊

國立中央圖書館藏

佛教哲學目次

緒論

第一 佛教と哲學との關係

第二 佛教研究ノ方法

總論

本論

第一 理論宗

(一) 理論宗總論

(二) 有空中三宗論

(三) 小乘大乘理論ノ比較

(四) 俱舍宗

(五) 成實宗

(六) 小乘大乘ノ區別



一
九
一六
一九
一九
二四
二八
三三
四〇
四一

(七)	法相宗	四二
(八)	三論宗	五五
(九)	起信論	五九
(一〇)	天台宗	七一
(一一)	華嚴宗	七六
(一二)	真言宗	八四
(一三)	理論宗ノ結論	九〇
第二	實際宗	九二
(一)	禪宗	九二
(二)	日蓮宗	九五
(三)	淨土諸宗	九八

佛教哲學目次畢

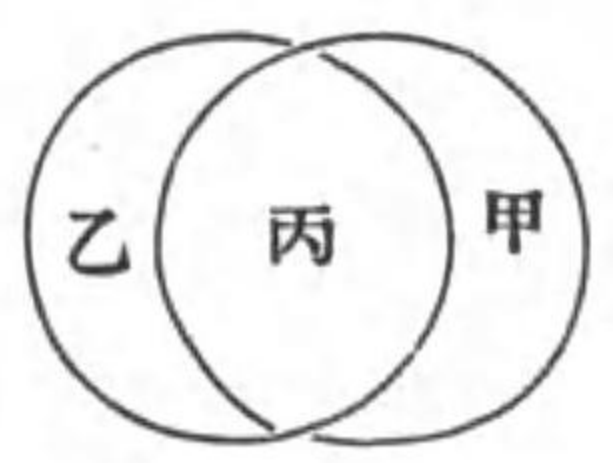
佛教哲學

文學博士 井上圓了講述

佛 教 哲 學

緒論 第一 (佛教ト哲學トノ關係)

佛教ハ哲學ナリヤ宗教ナリヤトハ今日ノ一問題ナリ世間之ヲ論スル者ハ曰フ佛
 教ハ宗教ニシテ哲學ニアラズト或ハ曰フ佛教ハ哲學ニシテ宗教ニアラスト然レ
 ドモ是レ皆一方ニ偏スル僻見ナリト謂ハザルベカラズ余ハ將ニ之ニ答ヘテ曰ハ
 シトス佛教ハ其一部哲學ヨリ成リ其一部宗教ヨリ成リテ哲學宗教ノ相結合セル
 モノナリト今此三者ノ關係ヲ示サハ圖ノ如シ



甲ハ哲學ニシテ乙ハ宗教ナリ而シテ甲乙相結合スル部分即チ丙
 ハ佛教ナリ故ニ佛教ハ哲學ト宗教トノ結合シタルモノニシテ哲
 學ト宗教トハ佛教以外ニ尙ホ數多ノ種類ヲ有ス
 余ノ講述セントスル所ハ佛教ノ宗教ニ屬スル部分ナラスマテ哲
 學ニ屬スル部分ナリ故ニ茲ニ題シテ佛教哲學ト云フ先ツ此佛教ガ哲學ト宗教ト

ニ如何ナル關係ヲ有スルカヲ明瞭ナラシメ、爲ニ茲ニ哲學ト宗教トノ關係ヲ畧述スヘシ

哲學ト宗教トハ其名既ニ異ナレハ其性質亦固ヨリ異ナラサルヘカラス哲學ハ如何ナル定義ヲ有スルカ宗教ハ如何ナル義解ヲ有スルカ是レ吾人ノ豫メ知ラサルヘカラサルコトナリ然レトモ其定義未タ一定セサレハ茲ニ不明瞭ナル義解ヲ下サンヨリハ寧ロ兩者ノ關係異同ヲ説明スルノ捷徑タルヘキヲ信ス故ニ余ハ先ツ兩者ノ異同ヲ陳フベシ

凡ソ世界(最モ廣キ意味)ニ二種ノ部分アリ之ヲ術語ニテ云ヘバ可知の世界ト不可知の世界トナリ之ヲ通俗ニ云ヘハ人智ノ知ルヲ得ヘキ世界ト人智ノ知ルヲ得ヘカラサル世界トナリ此二種ハ即チ哲學ト宗教トノ區別ヲ示スモノナリ可知の世界ハ現象世界ニシテ不可知の世界ハ之ニ對シテ實體世界ナリ既ニ現象アレハ必ス其實體アリ實體アレハ亦必ス其現象アリ即チ可知の現象世界ハ不可知の世界ノ本體ヨリ發現セルモノナリ又現象世界ハ有限ニシテ實體世界ハ無限ナリ何者現象世界ノ万有萬象ハ時間上空間上共ニ有限ナルモノニシテ實體世界ハ既ニ不

可知のナルカ故ニ人智ヲ以テ之カ制限ヲ附スルヲ能ハサレハナリ又有限世界ハ相對ニシテ無限世界ハ絕對ナリ何トナレハ有限世界ハ事々物々比較上ヨリ成立シ動靜剛柔大小高低等總テ二者對望シテ存スルモノニシテ無限世界ハ更ニ比較スヘキ事物ヲ有セサレハナリ又相對世界ハ差別ニシテ絕對世界ハ平等ナリ相對世界ニアリテハ上ハ日月星辰ヨリ下ハ昆蟲魚介ニ至ルマテ無數無量ノ事物各々其形狀性質ヲ異ニス故ニ差別ナリ然ルニ絕對世界ハモト吾人ノ智識以外ニ存スルモノナレバ其上ニ差別ヲ見ルコト能ハス故ニ無差別平等ナリ今之ヲ表示スレハ左ノ如シ

世界 { 可知の — 現象 — 有限 — 相對 — 差別
不可知の — 實體 — 無限 — 絕對 — 平等

又佛教ニ於テハ現象ヲ事相ト云ヒ實體ヲ理性ト云フ而シテ現象界ノ万有萬象ハ之ヲ方法ト稱シ實體ヲ眞如ト稱スルナリ

此區別ハ哲學ト宗教トノ關係ヲ示スモノニシテ哲學ト宗教トハ其根據トスル所各異ナレリ哲學ハ可知のヨリ不可知のニ及ホシ宗教ハ不可知のヨリ可知のニ及

ホスナリ而シテ不可知の存在ハ哲學モ之ヲ許シ宗教モ亦之アルヲ説ク故ニ二者只其方向ノ異ナルノミニシテ一ハ右ヨリシ一ハ左ヨリス是レ哲學ト宗教トノ一區別ナリ

(四)

次ニ心理學上ヨリ哲學ト宗教トヲ區別セハ吾人カ哲學ニ對スル心ノ作用ト宗教ニ對スル心ノ作用ト其間ニ相異ナル所アリ哲學ハ吾心ノ智力ノ作用ニ基ツキ宗教ハ感情ノ作用ニ本ツク然レトモ其間互ニ相關係スルモノニシテ哲學モ多少感情ヲ混シ宗教ニモ幾分カ智力ノ加ハルモノナリ是レ只大體ノ上ヨリ斯ク區別スルノミ凡ソ心理學上人心ノ作用ヲ大別シテ智情意ノ三ト爲スハ既ニ人ノ熟知スル所ナルガ哲學ハ其中ノ智力ニ本ツキ宗教ハ感情ニ依リテ成立スルモノナリ智力ハ思想ヲ基礎トシテ思慮シ推理スルモノニシテ能動的ナリ之ニ反シテ感情ハ受動的ニシテ我心ニ他ノ刺戟ヲ感受領納スルモノナリ是ニ於テ智力ノ上ニ思想アリ感情ニヨリテ信仰ヲ生ス而シテ思想ハ論理ニヨリ信仰ハ直覺ニヨル又論理ハ道理ヲ本トシ直覺ハ天啓ヲ本トス之ヲ概括スレハ左表ノ如シ

哲學—智力—思想—論理—道理

宗教—感情—信仰—直覺—天啓

此區別ヲ前ノ區別ニ照合スレハ哲學ト宗教トノ異同愈々明瞭ナルヘシ哲學ノ可知的ヲ始メトスルハ智力ヲ基礎トスル所以ニシテ智識ノ及フ所ヲ可知的ト云ヒ及ハサル所ヲ不可知のト云フ而シテ哲學ハ思想論理ノ方ニ因リテ道理ニ向テ進ミ以テ不可知の世界ノ存在ヲ推究スルモノナリ又宗教ハ感情上ニ直ニ不可知の世界ノ存在ヲ覺知スルモノニシテ不可知ナルモノハ我心ノ力ニヨリテ探究スルヲ得サルヲ以テ自ラ心其者ノ上ニ感知スルナリ之ヲ啓示ト云フ斯ノ如ク哲學宗教各々異同アリト雖モ是レ唯大體ノ區別ニ止リテ其間ニ密着ノ關係ヲ有ス哲學ハ可知の世界ヲ主トスト雖モ又不可知の世界ヲモ論スルモノナリ然ラハ知力ヲ本トスル哲學ノ如何ニシテ人智以外ニ存スル不可知のヲ知ルヲ得ルカト云フニ固ヨリ不可知ナルヲ以テ其者ノ内部ニ入りテ研究スルハ到底出來得ヘカラサルヲナレトモ可知的ヨリ進メハ不可知の其者ノ存在ヲ知ルノミナラス其如何ナル状態ナルヤモ多少推知スルヲ得ベシ即チ吾人ハ探究シ進ムトキハ不可知的ノ境ニ到達スルヲ得然レトモ唯其外面ヲ輪回シテ内部ニ進入ルヲ能ハス吾人

(五)

ハ時アリテ不可知のハ斯ノ如キモノナラント思考スルヲアリ且ツ多少之ヲ考ヘ得ルヲアルモ其不可知のナリト思考スルモノハ不知不識劫テ可知の内ニ彷徨スルモノニシテ唯其理ヲ不可知のニ當嵌ムルニ過キス畢竟此問題タルヤ古來學者ノ之ガ説明ニ苦ミシ所ニシテ佛教ニ於テモ亦種々ノ議論アリ彼ノ維摩經ニアル所ノ維摩ト文殊トノ問答ノ如キハ其一例ナリ或時釋迦ノ弟子數輩命ヲ奉シテ維摩ノ疾ヲ問フ而シテ弟子等維摩ニ對シテ陳アル所其見淺薄ニシテ大道ノ一斑ヲモ盡スニ足ラサルヲ以テ維摩悉ク之ヲ論破シ其小智ナルヲ彈斥セリ文殊乃チ代リテ不可知のノ本體ハ吾人ノ得テ思議スヘキモノニアラサルヲ詳論ス維摩默シテ答ヘス是ニ於テ文殊モ亦己ノ非ナルヲ悟レリ蓋シ不可知のナルモノハ吾人ノ知ルヲ能ハサルガ爲ニ不可知のナリ然ルニ是レゾ眞ノ不可知のナリト口ニ談スル者ハ眞ノ不可知のヲ悟リタルニアラス老子ノ所謂知者不言言者不知ノ如ク眞ニ大道ヲ知ル者ハ言ハス言ヘハ則チ大道ノ眞相ニアラス是レ維摩ノ默スル所以ナリ然レトモ余ノ考ヲ以テセハ維摩モ未タ大道ヲ盡スニ足ラス何者維摩ハ之ヲ言語ニ發セスト雖モ之ガ不可知のノ實相ナリト其心ニ思議シテ默シタルヤ

必然ナレハナリ若シ余ヲシテ此座ニ在ラシメハ余ハ直ニ眠リテ無念無想ノ境ニ入ラン此ノ如ク眞ノ不可知のハ口ニモ言フ能ハス心ニモ畫ク能ハス實ニ言亡慮絶ナリ然レトモ吾人ノ心ニ思ヒ口ニ述フルハ實ニ止ムヲ得サルヲタリ之ヲ要スルニ吾人ハ不可知のヲ思考シテ多少其状態ヲ察スルヲ得ベキモ若シ進ミテ其本領ニ入ラントセハ直ニ反彈セラル、ナリ此ノ如ク哲學モ宗教モ共ニ不可知のニ關係ヲ有シ唯其方向ヲ異ニスルノミ

又心理學上ノ關係ヨリ見ルニ宗教ハ信仰ヲ基本トスト雖モ又多少智力ノ作用ヲ備ルモノナリ即チ宗教ヲ信スルニ當リテハ多少心ニ會得シテ後ニ信スルナリ假令如何ナル愚夫愚婦ト雖モ彼等相當ノ智力ヲ以テ之ヲ考ヘ兎ニ角自己ノ心ニ領得セザルヘカラス又學者ニシテ愚夫愚婦ト同一ノ信仰ヲ爲スモ學者ハ其智力ニ訴ヘ推理攻究シテ後チ其眞理タルヲ確認シタルニヨリ之ト同シク智力ヲ主トスル哲學モ亦信仰ニ由ラサルヘカラス例ヘハ哲學ニ於テ一ノ疑ヲ起シ之ヲ研究スルニ方リテ苟モ得ル所アレハ其說ニ信ヲ措カサルヘカラスカント、ヘーゲルト雖モ自己ノ說ハ万古不易ノ眞理ナリト信スルナリ此點ニ於テハ宗教ノ信仰ト毫モ

異ナルヲナシ又ヒユームノ如キハ懷疑學ヲ唱へ一切ノ學說ヲ排斥シテ真理モナク物心モナシト主張シタレトモ氏ハ既ニ真理ナク信仰ナシト云フヲ真理トシテ信仰シタルモノナルヤ疑フヘカラス此信仰ハ即チ感情ニ本ツクモノナリ斯ノ如ク哲學ト宗教トハ大體ノ區別アレトモ精細ニ詮索スレハ密着ノ關係アリ而シテ佛教ハ殊ニ哲學宗教ニ密接ノ關係ヲ有シ其哲學ト關係スル點ハ許多ノ宗教中未タ其比ヲ見サル所ナリ

次ニ佛教上ニ哲學宗教ノ二者ノ成立セル所以ヲ述フヘシ佛教中ニハ各宗ノ學問共ニ理論ニ屬スル部分ト實際ニ屬スル部分トアリ理論ニ屬スル部分ハ一宗々々ニ立ツル原理ヲ道理上研究スルモノニシテ此部分ハ哲學ニ屬スルモノト謂フヘシ實際ニ屬スル部分ハ信仰ノ方法修行ノ規則ヲ説クモノニシテ即チ此部分ハ純然タル宗教ニ屬スルモノナリ

佛教ノ目的ハ涅槃ニ到達スルニアリ涅槃ハ不可知の世界ニシテ或ハ是ヲ真如ト曰フ涅槃ノ實在ハ各宗總テ道理上ヨリ説明スルモノニシテ此説明ハ哲學ナリ而シテ之ニ到ルノ方法ヲ講スルモノハ即チ宗教ナリ

緒論 第二 (佛教研究ノ方法)

前段陳述セシ如ク佛教上ニ道理ヲ主トシテ説ク所ノ哲學ノ部分アルハ昔時印度ニ於テ諸種ノ外道ニ對シテ佛教ノ真理ナル所以ヲ説明シタルニヨル然ルニ今日ニ於テハ印度ノ所謂外道ナルモノナシト雖モ之ニ代フルニ種々ノ學問宗教アリ然ラハ今日佛教ノ講究ハ此學問宗教ニ對シテ佛教ノ真理ヲ示サ、ルヘカラス然ルニ世間或ハ云フ佛教ハ既ニ三千年前ニ完成シタルモノナリ何ソ他ノ學ヲ適用シテ説明スルノ要アラント然レトモ是レ時ト場合トヲ知ラサルノ言ノミ今ハ印度昔時ノ外道諸教ナシト雖モ耶蘇教アリ理學アリ哲學アリ之ニ對シテ佛教ノ真理ナル所以ヲ證明セサルヘカラス而シテ之ヲ證明セントスルニハ哲學並ニ其他ノ種々ノ學ヲ研究セサルヘカラス余ハ此ノ如ク諸學ニ對シテ佛教ヲ説明スル方法ヲ名クテ發達的學風ト云ヒ從來我國ノ佛教家カ研究シ來リシ方法ヲ名クテ註釋的學風ト云フ註釋的學風ニ於テハ佛教ハ完全ナル真理ト斷定シテ單純ニ之レカ註釋ヲ加フルノミ若シ單ニ佛教部内ニ在リテ研究スルハ此學風モ亦可ナルヘシト雖モ今日佛教ヲ世間ニ擴張シ將來ニ傳ヘントスルニハ到底何等ノ用ヲモ

佛 教 哲 學

ナサ、ルヘシ故ニ今日佛教ノ光輝ヲシテ中外ニ宣揚セシメントスルニハ必ス註釋の學風ヲ一變シテ發達の學風トナサ、ルヘカラス發達の學風ハ即チ其時勢ニ適應シテ説クモノナリ若シ單ニ註釋的學風ニヨラハ佛教ハ死物トナラン之ニ反シテ發達の學風ニヨラハ佛教ハ活物トナラン何トナレハ註釋的ハ佛教内ニ止リテ字々句々ヲ解スルニ過キサレハ土石ノ如ク幾年ヲ經過スルモ成長スルコトナシト雖モ發達の學風ハ外諸學ニ對シテ佛教ノ眞理ヲ比較論究スルヲ以テ其精神ヲ開發セレムルモノナレハナリ恰モ註釋的ニ由ルハ内ニ在テ籠城スルカ如ク發達のニ由ルハ外ニ出テ、競争スルカ如シ故ニ今日ニ於テハ發達の學風ヲ取ラサルヘカラス

然ラハ今日發達の學風ヲ取リテ佛教ニ妨害ナキヤト云フニ元來註釋的ト發達のトハ其考自ラ異ナルモノニシテ註釋的ニヨレハ釋尊ノ説法ハ佛教ニ有ラユル道理ヲ説キ盡シタルモノトシ發達のニヨレハ釋尊始メテ佛教ノ種子ヲ下セシモノトナス即チ前者ハ佛教ノ花既ニ釋尊ノ時ニ開キ盡クセルモノトシ後者ハ釋尊ノ下セシ種子ヨリ漸次成長シテ他日花ヲ開クモノトスルナリ

佛 教 哲 學

世人或ハ佛教ヲ目シテ退化説(正像末三時ノ説ノ如キ其ノ一例ナリ)トナス然レトモ是レ只其ノ一部分ヲ見タルノミ他ノ一方ヨリ觀察スレハ進化説ナリ抑、退化説トハ如何ナルコトヲ意味スルカト云フニ進化トハ初メ單純ニシテ後ニ複雜トナルヲ云ヒ退化トハ初メ複雜ニシテ後ニ單純ナルモノヲ云フ彼ノ野蠻社會ノ士農工商ノ區別モナキ時代ヨリ漸次ニ階級ヲ生シ分業ヲ生シ複雜ナル組織ヲ爲スニ至ルハ是レ社會ノ進化ナリ星雲ノ渾沌タルモノヨリ千種万様ノ現象世界ヲ爲スニ至ルハ是レ宇宙ノ進化ナリ極メテ單純ナル一粒ノ種子ヨリ幹ト成リ枝ト成リ葉ヲ生シ花ヲ開キ實ヲ結フニ至ルハ是レ植物ノ進化ナリ今釋尊ノ始テ佛教ノ種子ヲ下セリト云フ説ヨリ考フレハ佛教ハ進化セルモノニシテ其傳來ノ歴史ヲ一見セハ亦進化ノ原則ヲ逐ウテ發達シ來レルモノナルコトヲ知ラン釋尊ノ在世ノ時及其入滅以後未タ宗派ノ別アラサリシモ歲月ヲ經過スルニ從ヒ宗ヲ爲シ派ヲ分チ其組織複雜トナリ以テ今日ニ及ヒタリ思フニ將來モ亦益々複雑トナラン果シテ然ラハ何故ニ佛教ニ退化説ヲ唱フルカト云フニ是レ其見方ノ異ナルノミ前ノ所謂進化ハ佛教ノ外部ヨリ觀タルモノニシテ若シ其内部ヨリ觀察セハ退化ナリ樹

木ヲ以テ之ヲ例セン乎種子ハ外部ヨリ見タルトキハ花モナク實モナク極メテ單
 純ナルモノナリ然レトモ其ノ内部ヨリ見レハ一種子ノ中ニ枝トナリ葉トナリ實
 トナルベキ一切ノ原因ヲ包含セルヲ以テ實ニ完全ナリト云フヘキモ若シ種子ノ
 成長シテ漸ク複雜トナリ根幹枝葉ノ相分ル、ニ至レハ葉ハ葉ノミノ用ヲナシ他
 ノ根幹等ノ原因ヲ其中ニ具セス枝ハ枝ノミノ用ヲ爲シテ花實等ノ原因ヲ其中ニ
 有セス即チ外部ヨリ見レハ進化ニシテ内部ヨリ見レハ退化ナリ佛教モ亦斯ノ如
 ク内部ヨリ觀察スレハ退化ナリ又物理學上潛勢力顯勢力ト云フコアリ種子ノ中
 ニハ枝葉花實トナルヘキ潛勢力ヲ有スルモノニシテ此力一タヒ發現シテ枝葉花
 實トナレハ顯勢力トナル世間ノ所謂進化ハ外部ノ顯勢力ヨリ見タルモノニシテ
 若シ其内部ナル潛勢力ヨリ見レハ退化ト謂ハサルヘカラス
 註釋的學風ハ所謂潛勢力ヲ取ルモノニシテ發達の學風ハ顯勢力ヲ取ルモノナリ
 註釋的學風ハ退化ニシテ發達の學風ハ進化ナリ是レ只其見解ノ異ナルノミニシ
 テ孰レヲ是トシ孰レヲ非トスルヲ得ス然レトモ今日ノ時勢ニ應シテ佛教ヲ擴張
 セントセハ必ス發達の學風ニ依ラサルヲ得ス何トナレハ註釋的學風ハ保守的ニ

シテ佛教以內ニ止リテ研究シ發達の學風ハ進取的ニシテ佛教以外ニ對シテ論ス
 ルモノナレハナリ
 尙ホ此註釋的ト發達のトヲ結合セントスルニハ釋尊ノ說ハ主觀上完全ナルモ客
 觀上不完全ナリ即チ能說ノ教主ニアリテハ完全ニシテ所說ノ衆生ニアリテハ不
 完全ナリト云フコトヲ假定スルヲ要ス釋尊其人ノ思想中ニハ佛教固ヨリ完全ナル
 ヘクレトモ之ヲ外部ニ適用スルニ方リテハ衆生ノ機根ニ應シ言語ノ制限ヲ受ケ
 無限絶對ノ真理モ亦有限相對トナルヲ免レス且ツ所說ノ衆生ノ思想未タ足ラサ
 ル所アルヲ以テ能說ノ教主ノ意ヲ解得スルコト難シ既ニ華嚴ノ會坐之ヲ聞ク者聳
 ノ如ク啞ノ如シト云ヘリ余ハ之ヲ能說ノ教主ニ在リテハ完全ナルモ所說ノ衆生
 ニ在リテハ不完全ナリト云フ斯ノ如キ見解ヲ下サハ註釋的發達のノ二ヲ調和ス
 ルヲ得ベシ即チ能說ノ上ニアリテハ註釋主義ヲ取リ所說ノ上ニアリテハ發達主
 義ヲ取ルヘシ

今之ヲ佛教上ニ照スニ釋尊一代ノ說法ハ發達の學風ヲ逐ウテ說キタルモノニシ
 テ滅後數千年間ノ歴史モ亦全ク此風ヲ逐ウテ發達セリ釋尊三十三ニシテ成道シ始

(14)

メテ自己カ大悟セル絶對完全ノ真理ヲ其儘説キタルモノハ華嚴經ナリ然レトモ機縁未タ熟セサルヲ以テ轉シテ小乘淺近ノ法ヲ説キ次ニ大乘ノ初門ニ移リ順序ヲ逐ウテ遂ニ高尙深遠ナル一乘眞實ノ法ヲ説ケリ是レ即チ釋尊三十成道ノ時始テ佛教ノ種子ヲ蒔キ之ヨリ萌芽ヲ生シテ小乗トナリ成長シテ終ニ大乘ノ花實ヲ完ウシタルモノナリ然ラハ釋尊一代ノ說法ハ發達の學風ト稱スルモ敢テ不可ナルナシ而シテ其滅後ニ於テモ四百年間小乘獨り盛ニシテ大乘ヲ説クモノナシ後チ六百年ニ至リ馬鳴現ハレテ大乘ヲ唱ヘシヨリ七百年ニシテ龍樹現ハレ九百年ニシテ無着世親等出テ大乘ノ法愈盛ナリ爾後益々發達シテ種々ノ宗派ヲ分出シ三千年ノ久シキヲ經テ今日ニ至リ我國ニ於テスラ十二宗三十餘派ノ多キニ及ヘリ然ラハ是亦發達の學風ノ順序ニ依ルモノト謂ハサルヘカラス

斯ノ如ク佛教ノ發達シテ大ナルモノトナリシハ畢竟他ヨリ餘説ヲ混加セルモノアルニ非スヤト云フ者アリ然レトモ今日佛教ノ宗派幾十ノ多キニ及フモ時間上ニ於テモ空間上ニ於テモ一貫ノ理脈ヲ存スルカ故ニ數千年間種々ノ變遷アルモ一佛教タルヲ知ルナリ恰モ豆大ノ種子ト巨大ノ老樹トノ間ニ一貫ノ理脈アル

カ如シ一粒ノ種子ニハ本來固有スル原形アリ原形ハ之ニ材質ノ加ハルアリテ成長スルナリ即チ樹木ヲ組經スル材質ハ他ノ榮養ヨリ取ルモノニシテ形質相合シテ始メテ樹木ト成ルモノナリ佛教モ亦之ニ異ナラス佛教種子ノ原形内ニ社會万般ノ榮養ヲ取り之ヲ同化シテ今日佛教ノ状態ヲ顯ハスモノナレハ假令數宗多派アリト雖トモ其間ニ一貫ノ理脈ヲ有ス一貫ノ理脈ヲ有スルハ其形ノ相同シキヲ以テナリ即チ原形ニ於テハ時間上三年以前モ今日モ相異ナル所ナク今日幾宗何派タルモ空間上悉ク同一ナリ然レトモ其材質ニ至テハ各國ノ風俗人情習慣等ニ由リテ相異ナラサルヲ得スサレハ支那ノ營養ヲ得テ長セル支那ノ宗旨アリ日本ノ材料ヲ取リテ生セル日本ノ宗旨アリ恰モ同種ノ茶ニシテ支那ノ茶日本ノ茶各相異ナルカ如シ然レトモ其原形ダニ異ナラサル以上ハ同一ノ佛教ト謂ハサルヘカラス此形ノ佛教各宗ニ遍在セルコトハ余ノ是ヨリ説カントスル所ナリ

斯ノ如キ見解ヲ以テ講究スルモノハ發達の學風ナリ注釋的學風ハ從來其書籍多ク且ツ佛教専門學者ノ任スル所ナレハ余ハ之ニヨラスシテ發達の學風ニヨリ講究セントス今日我佛教ハ四面他ノ宗教學術ニ圍繞セラル、ノ時ナレハ此中ニ立

テ佛教ノ眞理ヲ唱道セントスルハ恰モ古代印度ニ諸派ノ外道盛ナル時ニ當テ之ト競争セシガ如キ形勢ナルヲ以テ必ス發達の學風ニ依ラサルヘカラス然レトモ其材質ハ印度ニハ印度ノ營養分アリ日本ニハ日本ノ滋養物アリ今日ノ材料タルモノハ即チ泰西諸國ノ哲學ナリ假令之ヲ取ルト云フモ哲學其者ヲ佛教ニ混和スルニアラス唯哲學ノ研究ニ照シ以テ佛教内部ニ包含セル眞理ヲ發揮セントスルニアリ是レ即チ余ノ本旨ニシテ今回佛教哲學ノ講義ヲ開キタル所以ナリ

總論

佛教ハ哲學ト宗教トノ相結合シテ成立スルモノナルコトハ前段既ニ講述セリ是ヨリ佛教ハ如何ナルコトヲ目的トスル宗旨ナルカヲ陳ヘサルヘカラス抑モ佛教ノ目的トスル所ハ轉迷開悟ニアリ迷悟トハ何ソヤ曰ク余カ前述セシ可知の不可知の二世界是ナリ可知の不可知のハ哲學上ノ名稱ニシテ之ヲ宗教上ヨリ云ヘハ迷界悟界ノ名稱ヲ與フルナリ蓋シ可知の世界ハ方法界ニシテ相對差別ノ境ナリ不可知の世界ハ眞如界ニシテ絶對無差別ノ境ナリ又方法界ニハ生死増減アリ

テ時々刻々變化シテ止マサルモ眞如界ニ至レハ不生不滅不増不減ナリ故ニ又可知の世界ヲ生滅界ト稱シ不可知の世界ヲ不生滅界ト稱ス迷悟ハ即チ生滅不生滅ニヨリテ分ル、モノニシテ此生滅變化ノ迷界ヲ離脱シ不生滅眞如ノ悟界ニ轉入スルヲ轉迷開悟ト云フ迷悟兩界ハ哲學ヨリ云ヘバ可知不可知若ハ現象實體ノ名稱ヲ以テスルモ可ナリ然ルニ迷悟ノ語ヲ用ル所以ノ者ハ畢竟佛教ハ宗教ナルヲ以テナリ佛教中哲學宗教ノ二部分アリト雖モ其眞正ノ目的ハ宗教ニアリテ哲學ハ唯其道理ヲ説明セシ爲ナリ元來哲學ハ可知のヨリ不可知のヲ探究スルヲ以テ其本務トスレトモ佛教ハ單ニ之ヲ探究スルノミナラス實際上迷界ヲ去テ悟界ニ至ル道ヲ教ユルモノナリ之ヲ要スルニ佛教ノ轉迷開悟ヲ目的トスルハ佛教ノ宗旨ナル所以ニシテ其哲學ヲ兼有スルハ其目的ヲ達スル方便ニ過キス其方便ニヨリテ以テ其道理ヲ説明スルナリ而シテ今日許多ノ宗教中最モ多ク哲學ノ理論ヲ有スルモノハ佛教ナリトス

佛教ノ宗派其數甚タ多クレトモ何レノ宗旨モ皆哲學宗教ノ二部分ヨリ成立ス余ハ其中ノ哲學ノ部分ヲ理論門ト名ク宗教ノ部分ヲ應用門ト名ク理論門ハ可知的

ヨリ進ミテ不可知的ノ存在スル所以ヲ推究シ應用門ハ既ニ不可知的ノ存在ヲ確
 定シ此ニ到達スルノ方法ヲ講スルナリ然レトモ同一ノ佛教ニシテ宗派ノ異同ニ
 由リテ多少其説ク所ヲ異ニスレ蓋シ其見解ノ右ヨリスルト左ヨリスルトノ差
 異ノミ其目的ニ至リテハ各宗諸派毫モ異ナルヲナシ
 佛教ノ宗派ハ印度ニ於テハ小乘中ニ諸派ノ分レシテ見ルモ大乘ハ餘リ多岐ニ分
 レサリシカ支那ニ入りテ漸ク其數ヲ増シ我國ニ傳テハ今日十二宗三十餘派ノ多
 キニ及ヘリ即チ余カ講述セントスルハ我國ニ現存セル佛教ニアリ現今我國ノ宗
 旨ハ天台宗、真言宗、淨土宗、禪宗、真宗、日蓮宗、時宗、融通念佛宗、法相宗、華嚴宗ノ十宗ナ
 リ其中禪宗ハ別レテ曹洞、臨濟、黃蘗ノ三宗トナレルヲ以テ總テ十二宗アリ而シテ
 此等ノ諸宗ハ假令其理論上淺深高下ノ差アリ應用上遠近内外ノ別ナキニ非スト
 雖モ各理論應用ノ二門ヨリ成立シ且ツ斯ノ如ク數宗ニ分ル、モ之ヲ一貫スル所
 ノ理脈アルカ故ニ之ヲ一佛教ト爲スナリ
 今佛教ノ宗旨ヲ大別シテ理論宗ト實際宗トノ二トス理論宗(理宗)ハ理論ヲ主トシ
 テ説クモノニシテ實際宗(通宗)ハ之ニ反シテ實際ヲ主トシテ立ツルモノヲ云フ理

論宗ハ之ヲ別チテ有空中ノ三宗トス今諸宗ヲ之ニ配當スレハ左表ノ如シ



(一) 理論宗總論

理論宗ノ目的トスル所ハ萬法ヨリ進ミテ眞如ノ實在ヲ論明スルニアリ抑モ此萬
 法即チ萬有世界ハ天地山川ヨリ昆蟲魚介ニ至ル迄其種類千差萬別ナリト雖モ之
 ヲ推究スルトキハ其實平等單一ノ理躰ノ上ニ成立スルモノニシテ恰モ千波萬浪
 ノ躰ノ唯一ノ水ナルカ如シ即チ萬法ヲ分拆シ概括スルルハ其中ニ遍在セル一貫

ノ理脈ヲ發見スルニ至ル此一貫ノ幹ハ即チ眞如ノ理ナリ既ニ眞如アリトセハ此眞如ト萬法トノ關係如何是レ次ニ生スル一問題ナリ之ヲ解スル者ハ曰此世界ハ唯一ノ眞如アルノミニシテ万法實ニ存スルヲナシ而シテ實ニ存セサル萬法ノ吾人ニ顯ル、ハ畢竟吾人ノ迷見ニ過キス吾人ハ一生夢幻ノ裏ニ彷徨シテ萬法ヲ見ルモノナリト是レ萬法虛無論者ノ唱フル所ナリ然レトモ吾人カ實ニ存在セサル者ヲ認メテ存在スルモノト爲スヲ得ハ現在吾人ノ生存モ亦實ニ生存スル者ニ非ラスト謂ハサルヲ得ス若シ吾人實ニ存在セスト云フヲ得ハ吾人ニヨリテ知ラルル眞如ノ實在モ萬法ヲ虛無トナシタル吾人ノ思想モ亦皆虛無ナリト謂ハサルヲ得ズ是レ吾人ノ到底信スルヲ能ハザル議論ナリ又眞如ハ初メ萬法ヨリ推究シテ其實在ヲ知ルヲ得タルモノトセハ虛無ナル萬法ヨリ如何ニシテ眞如ヲ求ムルヲ得タル萬法夢幻ノ如ク不確實ナラハ之レヨリ得タル結果モ亦不確實ト謂ハサルヘカラス此ノ如ク眞如萬法ノ關係ハ最モ困難ナル問題ニシテ啻ニ佛教上ノミナラス諸哲學上ニモ亦一ノ大難題ナリ是レ即チ哲學上ニ所謂單一雜多ノ關係問題ナリ

吾人目前ノ世界ハ所謂雜多ニシテ日月星辰山川草木禽獸蟲魚等其差別變化ノ狀態得テ名狀スヘカラス然ルニ理化學上ヨリ探究スレハ此ノ如キ雜多ノ世界モ僅々六七十ノ元素ヨリ成リ哲學上ヨリ考究スルモ此雜多ノ世界ヲ結合スル一ノ道理アリ即チ世界其者ノ形象上ヨリ云ヘハ雜多ナルモ道理上ヨリ云ヘハ單一ナリ又理化學上元素ノ點ヨリ云ヘハ數十種ノ區別ナキニ非ラスト雖モ之ヲ物質ト云フ點ヨリ考フレハ天地万物悉ク一物ノ中ニ收マルナリ然ラハ此世界ハ單一ノ物質ト云フモ可ナリ又世界ノ歷史上ヨリ見ルニ今日ハ森羅万象其數無量ナルモ世界ノ本源ニ遡レハ今日ノ如キ許多ノ事物存セシニアラス其初ハ只渾沌タル雲氣宇宙ノ間ニ浮動セルノミニ此ノ雲氣ヲ名ケテ星雲ト云フ此單一ナル星雲ヨリ遂ニ今日ノ雜多ノ諸象ヲ生セシナリ然ラハ如何ニシテ單一ヨリ雜多ヲ生セシカ是レ理學哲學上ノ問題ニシテ之ヲ解スルニ一ハ單一ヲ原理ト立ツルモノト一ハ雜多ヲ原理ト立ツルモノトノ二論アリ若シ單一ヲ本トセハ如何ニシテ單一ヨリ雜多ヲ生セシカ又若シ雜多ヲ本トセハ何故ニ雜多ノ中ニ單一ヲ有スルヤ明ナラス之ト同ク佛教上ニテ眞如万法ノ關係ハ最モ困難ナル論題ニシテ若シ萬法ヨリ眞

如チ生ストセハ眞如ハ方法中ニ包含セラル、モノナルカ若シ眞如ヨリ方法ヲ生ストセハ何故ニ單一平等ヨリ維多差別ヲ生スルカ如何ナル論者モ此説明ニ苦ムナリ若シ此道理ノ愈々判明スルニ至ラハ凡ソ人間ノ研究スヘキ問題ハ大成セリト謂フヘシ古來儒教ニ於テ理氣ノ說アリ其說ニヨレハ人心ニ善惡ノ別アルハ氣質ノ上ニアルモノニシテ氣ノ本源タル理ニ至レハ善惡ノ別ナシトス然ラハ哲學上一多ノ問題ハ亦儒教ノ一問題ナリ且ツ耶蘇教ニ於テ神カ世界万物ヲ創造セリト云フ說モ此問題ノ一ニシテ神ハ純善純良ノ躰ナルニ何故此世界ニ善惡並存スルカ勿論其所謂神ハ自由ノ力ヲ有シ隨意ニ善惡ヲ造リ得ルモノトスルカ故ニ儒佛ノ問題トハ異ナル所アレトモ之ヲ説明スルニ當テ困難ナルハ何レモ同一ナリ即チ純善無惡ノ神ノ躰ヨリ惡ヲ生シタルハ是レ神ノ自由勝手ニ出テタリト解スルモ何故ニ神ノ惡ヲ造リシトノ本心ニ至リテハ最モ困難ナル問題ナリ之ニ就キテ神學上種々ノ辨解ヲナセシモノアレトモ到底附會說タルヲ免レス若シ獨斷的ニ之ヲ解釋シ是レ神ノ深意ノ爲ス所吾人ノ理會シ得ヘキコニアラスト云ハ、太タ容易ナルベキモ是レ道理上決シテ許スヘキ說ニアラス或ハ曰ク此世界ニ於テ

人ヲシテ善ニ向テ進マシメシニハ必ス惡ヲ置カサルヘカラス惡ノ刺戟アレハ止ムヲ得ズ善ニ向テ進ムモノニシテ若シ惡ナクンバ善ヲ爲ス者ナシト然レハ神ノ殊更ニ善惡ヲ設クテ善ヲ勸ムルニ惡ヲ以テセントスルガ如キハ是レ神ノ玩戲ニ過キス又或ル學者ハ曰ク本來善惡ノ二アルニアラス只一ノ善アルノミ吾人ハ世界全體中ノ一分子ナリ此一分子ハ全體ニヨリテ成立スル者ナルヲ考フレハ善ナリ若シ一分子自立獨存スルモノトシテ其一部分ニ固執スルハ惡ナリト是レアルモノ等ノ唱フル所ニシテ此說ハ稍哲學上ノ道理ニ契發スル者アリ例ヘハ宇宙ニハ東西南北ノ區別ナシト雖モ若シ或ル一定ノ場合ニ止ラハ立ロニ東西南北ヲ生スルカ如シ然ラハ東西南北別果シテアリヤ曰ク否然ラハ何故ニアリヤ曰ク是レ一部分ニ身ヲ寄セテ考フルヲ以テナリ今吾人自己一個ノ上ニ考フレハ自己ノ別ヲ生シ利己自愛ノ私心從テ起ル是所謂惡ナリ若シ自己ハ宇宙ノ一部分タルヲ知リテ全體ノ上ヲ考フルニ至レハ利他博愛ノ公情ヲ生ス是レ即チ善ナリ此說ハ佛教ニ於テモ既ニ說ク所ニシテ其教ノ無我ヲ本トスルハ此道理アルニヨル要スルニ道德上并ニ宗教上ニハ善ヨリ如何シテ惡ヲ生スト云フハ一大難問ニシテ

哲學上ニハ單一ヨリ如何シテ雜多ヲ生スト云フハ亦一大難問ナリ以上ハ理論宗ノ理論ノ何レニアルカヲ説キシカ是ヨリ一多關係論即チ眞如方法ノ關係論ニ就キテ有空中三宗ノ論スル所ヲ述フヘシ

(二) 有空中三宗論

佛教ハ哲學ノ道理ニ基キ思想ノ順序ニ從テ組織セラレタルモノナルコトハ余ノ常ニ唱フル所ニシテ即チ佛教ノ有空中ハ全ク思想發達ノ順序ニ依ル者ナリ此ニ余ノ所謂哲學トハ純正哲學ヲ指ス者ニシテ純正哲學ハ事物ノ本原實躰或ハ原理原則或ハ眞理ノ標準或ハ一切學問ノ根據ヲ考究スル者ナリ而シテ此學ノ主トシテ研究スル所ハ物ノ實躰心ノ本性及ヒ神ノ本躰ハ如何ナル者ナルカト云ヘル三問題ニアリ此ノ三問題ハ總ノ學問ノ根據タルモノニシテ總ノ學問ハ此物心神三問題中其ノ一ニ基カサルヲ得ス純正哲學上物心相關ノ理ヲ論究シ極ムルトキハ必ス此問題ニ遭遇スルモノニシテ今日學問上普通ノ道理ハ大抵説明スルヲ得ルニ至リシモ實躰上ノ道理即チ此三大問題ニ達シテハ未タ判明セサル點多シ而シテ之カ爲ニ理學上ニモ一切ノ道理ノ解釋シ得サルヲアリ故ニ若シ此問題ノ明

瞭ナルニ至ラハ一切ノ道理明ナラサルヲナシ今哲學上物心ノ關係ヲ論究スルニ其極物心一躰ト物心兩存トノ二説ニ歸ス物心一躰ノ説ハ之ヲ一元論ト云ヒ物心兩存ノ説ハ之ヲ二元論ト云フ又一ニハ物心共ニ無シト説クアリ之ヲ虛無論或ハ無元論ト云フ又一元論中物ノ外ニ心無シト云フモノ之ヲ唯物論ト云ヒ心ノ外ニ物無シトスルモノ之ヲ唯心論ト云フ凡ソ此世界ニ物心ノ兩存スルハ常人ノ疑ハサル所ニシテ目ヲ開ケハ此ニ万象ノ羅列スルアリ是レ即チ物ナリ而シテ此ニ物アリト知ル者ハ吾人ノ心ナリ然レトモ吾人ノ目撃スル事物ハ物ト云フヨリハ物ノ現象ナリ之ヲ物象ト云フ又吾人ノ常ニ心トスル者ハ吾人ノ見聞スル物象ノ内界ニ現ハレタルモノナレハ是即チ心ノ現象ナリ之ヲ心象ト云フ既ニ現象アレハ必ス其本躰ノ存スヘキ理ナルヲ以テ此ニ物象心象アレハ之カ本躰タル物躰心躰ナカルヘカラス然レトモ其本躰ハ吾人ノ知り得ヘカラス者ナリ故ニ二元論中ニハ物象心象上ノ二元論ト物躰心躰上ノ二元論トノ二種アリ通例ノ所謂二元論ハ前ノ現象上ノ二元論ニシテリト等ノ唱フル所ナリ又後ノ本躰上ノ二元論ハカントノ唱フル説是ナリ又物心二者ノ關係ヲ論シ其本躰ニ違スルニ至リテ此二

者ヲ結合スル一元ヲ立テ之ヲ神或ハ理想ノ躰トス此說ハ理想一元論ナリ然レモ
其所謂神トハ耶蘇教ノ如キ人性的個體的ノ神ニアラスシテ理想ノ躰ニ名ケタル
モノナリ故ニ之ヲ躰ト云フ是ニ於テ純正哲學ニ物躰哲學、心躰哲學、理躰哲學ノ三
ヲ生ス然ルニ哲學ハ此三躰ノ果シテ存スルヤ否ヤヲ研究スルニ過キス若シ其本
躰ニ違スルノ道如何ヲ講究スレハ即チ宗教ナリ故ニ宗教ニモ亦哲學ニ從テ三種
ノ別ヲ生ス即チ左ノ如シ



斯ノ如ク分類シテ佛教ヲ見レハ佛教ニ有空中ノ三宗アリ此有空中ノ三宗ハ蓋シ
物心理ノ順序ニ依ルモノナリ其中有宗トハ小乘ノ宗旨ニシテ小乘ニハ色心二元
即チ物心二元ヲ說ク然ルニ物躰哲學ハ唯物一元論ナリ然レトモ其躰吾人ノ所謂
物ニアラサレハ之ヲ名ケテ實有ト云ヒ其哲學ヲ實躰哲學ト云フ然ラハ小乘ノ實
有論ハ幾分カ相類似セル所アリト云フヘシ勿論其說ク所ハ二者相異ナリテ物躰

哲學ハ物象上ヨリ研究シ小乘ハ物心二元ノ上ヨリ講究スルモ共ニ其躰ノ實有ニ
違スルハ同一ナリ故ニ余ハ佛教中小乘宗即チ有宗ハ哲學上ニアリテ物躰哲學ノ
一種ニ屬スルナリ次ニ空宗ハ前ノ有宗カ万有ノ實躰アリトスルニ反シテ万有ハ
唯心ノ上ノ現象ニ過スシテ万有其者ニ實躰ナシトス是レ心躰哲學ノ論點ニ契合
ス又空宗中ノ唯識宗ニ於テ我心内ニ收藏スル種子開發シテ世界万有ヲ現スト說
キテ森羅万象唯識所變ト唱フルハ一種ノ唯心的哲學ナルヲ明カナリ次ニ中宗ハ
万有ノ本躰眞如ノ上ニ一切萬有ノ現象ノ森立スルヲ說ク故ニ其道理ハ正シク理
躰哲學ナリ此ニ由テ之ヲ觀レハ有空中ノ三宗ハ物躰宗、心躰宗、理躰宗ト云フモ可
ナリ即チ佛教中ハ哲學ト宗教トヲ兼備シ其目的ハ宗教上ノ安心ニアリテ之ニ違
スル手段トシテ哲學ノ道理ヲ說クモノナリ而シテ哲學上物心理三躰ヲ說クモ佛
教上有空中ノ三宗ヲ說クモ共ニ論理ノ順序ニ依ルモノナリ即チ万有ヲ討究シテ
其躰有リトスルハ有宗ニシテ万有ハ其實心ノ上ニ現ハレタルモノトスルハ空宗
タリ然ルニ有宗ニハ有ニ偏シ一ハ空ニ偏スルヲ以テ其二者ノ上ニ眞如ヲ說
キテ物心ヲ結合シ二者共ニ眞如ヨリ顯ル、モノトスルハ中宗ナリ而シテ此有宗

ト中トノ關係即チ方法ト眞如トノ關係ハ最モ困難ナル問題ニシテ又尤モ妙味アル論旨ナリ此論點ニシテ若シ明瞭ニ領會スルヲ得ハ當ニ佛教上ノミナラス一切哲學上ノ道理ヲ會通シ去ルヲ得ヘシ而シテ佛教ノ之ヲ説明スルハヘトゲル氏ノ所謂三段論理ノ規則ニ依ル者ニシテ西洋哲學史ノ考究ト一致スルナリ次ニ實際宗ハ其道理理論宗ニ本キテ唯之ヲ實際上ニ應用シタルニ過キサレハ佛教ノ道理ハ理論宗ニモ完全セリト云フヘシ

(三) 小乘大乘理論ノ比較



理論上小乘大乘各宗ノ立ツル原理ヲ列舉スレハ左ノ如シ
俱舍宗 法鉢恆有說 法相宗 唯識所變說 三論宗 八不空理說
天台宗 理性互具說 華嚴宗 果地融通說 眞言宗 六大涉入說
俱舍宗ハ法鉢恆有說ニシテ法鉢トハ方法万有ノ鉢ヲ指シ其鉢不生不滅ニシテ恆存スト云フ意ナリ恰モ理學ニ物質不滅勢力恆存ト云フカ如シ此宗ハ理學ノ元素論ノ如ク此世界ノ現象ハ千種万様ナルモ之ヲ探究スレハ其元素ハ七十五ニシテ此七十五ノ鉢ノ集合ニヨリテ万有万象ノ現立ヲ見ルナリ而シテ其說全ク事界差別上ノ論ニシテ眞如理界上ノ沙汰ニアラズ(第一圖)然レモ既ニ其鉢ノ實存スル以上ハ其裏面ニ不生滅ノ本鉢存在セサルヘカラズ是ニ於テ法相宗ノ說アリ法相宗

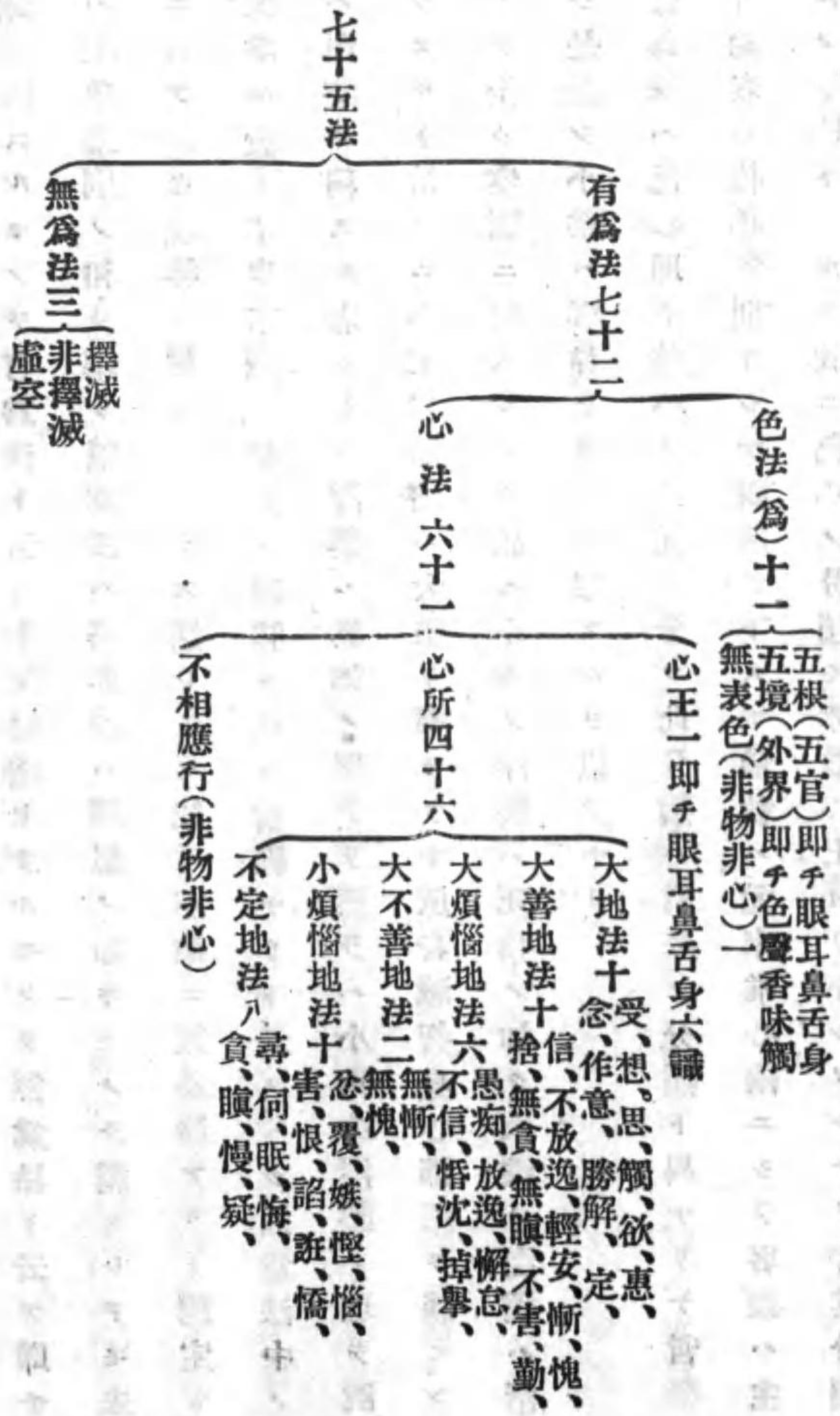
ハ唯識所變說ニシテ一切ノ方法ハ第八識即チ阿頼耶識ヨリ開發スルモノナリト
 唯心論ヲ唱ヘ併セテ眞如理體ノ存在ヲ説ク然レトモ方法ト眞如トノ間即チ事理
 ノ間ニ區別アリ(第二圖)蓋シ此ノ宗ハ眞如自ラ方法ヲ發現スルコトヲ説カス方法
 ナ發現スルモノハ阿頼耶識ニシテ此阿頼耶識ハ眞如ノ理體ヨリ生ストス故ニ万
 法ト眞如ト其間隔歴スルナリ更ニ進ミテ實大乘ニ至レハ事理融通シテ此懸隔ヲ
 見ズ次ニ三論宗ハ入不ノ空理ヲ説キ一切差別妄想ノ見ヲ打破ス故ニ理界ノミ
 リテ事界ナシト謂ハサルヘカラズ(第三圖)然ルニ三論ノ空理極マルキハ茲ニ再ヒ
 事界ヲ生シ眞如即方法方法即眞如ト説カサルヲ得サルニ至ル是ニ於テ天台宗
 リ天台宗ハ眞如平等ノ世界上ニ方法差別ノ世界ヲ顯現スルナリ(第四圖)然レモ天
 台宗ノ事界ト俱舍宗ノ事界トハ相異ナリテ天台宗ハ俱舍宗ノ裏面ナリ凡ソ佛教
 諸宗ノ論ハ皆同一ノ理ニ向テ講究スルモノニシテ唯其見解ニ左右上下ノ別アル
 ノミ之ヲ表面ヨリ探究スルモノハ俱舍宗ニシテ其裏面ノ理界一方ニ於テ論明ス
 ルモノハ三論宗ナリ而シテ理界極リテ眞如平等ノ理界ノ上ニ事界ヲ顯スハ天台
 宗ナリ華嚴宗ハ更ニ進テ事々ノ間ニ融通ノ理ヲ説クヲ以テ理界ノ上ニ事界アリ

事界ノ上ニ理界アリト謂フヘシ故ニ此宗ハ法相宗ノ裏面ニシテ法相宗ノ差別的
 開發論ニ對シテ絶對的開發論ヲ談ス(第五圖)而シテ尙ホ一步ヲ進メハ眞言宗ナリ
 眞言宗ハ六大即チ物心二元ノ事相ヲ本トシテ平等ノ理ヲ説クモノナリト其論此
 ニ至リテ初ノ俱舍宗ニ復歸スルナリ(第六圖)然レトモ俱舍宗ハ差別的二元ヲ説キ
 眞言ハ融通的二元ヲ説ク故ニ眞言宗ハ俱舍宗ノ裏面ニシテ又天台宗ノ裏面ニ在
 ルモノナリ是レ佛教ノ哲理ノ發達ニシテ此順序ハ西洋哲學ノ發達ニ符合スル所
 ナリ之ヲ要スルニ佛教諸宗其說各異ナルモ只其見方ノ異ナルノミニシテ共ニ眞
 如ノ實在ヲ證明スルモノナリ故ニ大乘ヨリ見レハ小乗ハ淺薄ナルカ如ク思ハル
 ルモ小乗ノ階梯ナクンハ焉ソヨク大乘ノ眞實ヲ知ランヤ小乗ニ方法ノ體ノ恒
 有ナルヲ知リシハ暗ニ其裏面ニ不生滅ノ眞アルヲ示スモノナリ是ニ於テ法相
 宗ハ進テ其本體アルヲ論定セリ然レトモ其論事理兩界ノ間ニ差別懸隔アルヲ
 以テ三論宗ノ空論起ルニ至レリ且ツ未タ事理兩界ノ關係明カナラサルヲ以テ天
 台宗ハ其關係ヲ示スニ至レリ斯ノ如ク小乗俱舍宗ヨリ眞言宗ニ至ル迄其間ニ種
 々ノ宗アルモ皆一佛教ニ入ルノ門ニシテ之ヲ一周シテ始テ全佛教ヲ知ルヘシ恰

モ圓埵ヲ周ルニハ一ノ起點ヲ要スルカ如ク佛教ノ起點ハ俱舍宗ニシテ各宗ヲ一
 周スルニアラサレハ佛教ノ全キヲ見ルヘカラス然リ而シテ何レノ宗旨モ皆自己
 ノ宗旨ヲ以テ第一最勝ノ法トスルハ圓埵中其宗ヲ終點トスルニヨル然レモ平等
 論ノ最上ニ達シタルモノハ天台宗ニシテ華嚴眞言等ハ更ニ進テ其裏面ニ降行ス
 ルモノ、如シ

今諸論ノ所説ヲ比喻ヲ設クテ比較セシニ俱舍宗ハ貴族政治ノ如ク七十五ノ貴族
 アリテ一切諸法ヲ定ムルナリ法相宗ハ將軍政治ノ如ク眞如ノ天子九重雲深キ處
 ニ隱栖シ給ヒ獨リ阿頼耶議ノ將軍之レニ代リテ全權ヲ掌握ス三論天台等ニ至レ
 ハ君主親裁政治ノ如ク眞如ノ天子自ラ一切ノ方法ヲ支配スルナリ之ヲ哲學上ヨ
 リ云ヘハ俱舍宗ハ物躰哲學ニ近ク法相宗ハ心躰哲學ニ近ク天台華嚴眞言ノ三宗
 ハ理躰哲學ニ近ク之ヲ二元一元ノ上ヨリ云ヘバ俱舍宗ハ現象上ノ二元論ナリ法
 相宗ハ一元論ナリ然レトモ眞正ノ一元論ニアラス現象上ニハ一元論ニシテ實躰
 上ニハ二元論ナリ三論宗ハ現象上ニハ無元論ニシテ實躰上ニハ一元論ナリ而シ
 テ天台華嚴眞言ニ至レハ現象實躰共ニ一元論ナリ

(四)俱舍宗



有空中ノ三宗中有宗ヲ以テ小乗トス有宗中又有門ト空門トアリ有門ハ俱舍宗ニ
 シテ空門ハ成實宗ナリ俱舍宗ハ此世界ノ千象万類ノ差別ヲ見テ如何ナル本躰ヨ

リ成立セルカヲ推究シ遂ニ世界ヲ分析シテ七十五ノ躰アリトス七十五ノ躰ハ前ニ表示スル如ク之ヲ大別シテ有爲無爲ノ二法トス爲トハ爲作造作ノ義ニシテ生滅變遷スルモノヲ有爲法ト云ヒ生滅變遷セサルモノヲ無爲法ト云フ即チ有爲法ハ現象差別ノ相ヲ稱シ無爲法ハ眞如或ハ理想ノ如キモノヲ稱スレドモ未タ大乘ニ云フ如キ理躰ヲ指スニアラス然レトモ既ニ小乘ニ無爲法アリト認定セシハ是大乘ニ於テ不生不滅ノ相如ノ理躰ヲ説ク前驅ナリト云フヘシ無爲法中ノ擇滅トハ涅槃ヲ稱スル者ニシテ涅槃ハ眞如ノ理ナリ然ラハ小乘亦涅槃ノ理ヲ説クニアラスヤト云フニ小乘ノ涅槃ハ大乘ト異ナリテ灰身滅智身心都滅ヲ談スルモノニシテ全ク空寂ニ歸スルノミ故ニ小乘ノ涅槃ハ死物ノ如ク大乘ノ涅槃ハ活物ノ如シ是蓋シ小乘ハ事界上ヨリ觀察スルヲ以テナリ

有爲法ハ色心即チ物心ノ二元ニ分ツ此分類ハ哲學ノ分類ト異ナリテ哲學上ノ二元論者ハ物心各別トシテ説明ヲ下スモ佛教ハ元來唯心論ニシテ客觀ハ主觀ニ入ルノ階梯トスルカ故ニ色心ノ分類モ亦唯心上ヨリ下シタルナリ今其分類ヲ見ルニ物界ヲ分チテ色聲香味觸ノ五境トス而シテ眼耳鼻舌身ノ五根(心理學上ノ所謂

五官ニ眼耳鼻舌身意ノ六識アリテ以テ外界ヲ感覺スルナリ此ノ如ク此宗ハ心ニ重キヲ置キ分類スルニモ心ニヨリテ爲シタルモノナレハ之ヲ物躰哲學ト云フモ其實主觀的物躰哲學ナリ

俱舍宗ニ於テハ外界ノ事物ヲ四大所造極微所成ト説ク四大トハ地水火風ニシテ一切有形ノ事物ハ此四大ノ所造ナリトス然レトモエンペドールノ所謂地水火風トハ異ナリテ此四大ハ物ノ性質ト云フカ如キ意ニシテ元素ノ意ニアラス元素ハ即チ極微ナリ地ハ堅ヲ義トシ水ハ濕ヲ義トシ火ハ煖ヲ義トシ風ハ動ヲ義トスル者ニシテ四大所造トハ如何ナル事物モ堅濕煖動ノ四性ヲ具備スト云フコナリ而シテ有形ノ事物ヲ分析スレハ更ニ之ヨリ細別スヘカラサル極微ナル者アリ一切有形ノ事物ハ此極微ナル元素ヨリ成立ス且ツ此極微モ亦堅濕煖動ノ四性ヲ具スト是レ今日理化學上物躰ニ固躰流躰氣躰ノ三アルヲ説キ其物躰ハ總テ元素ノ化合スルモノト説クニ一致スルモノナリ

俱舍宗ハ進化退化ノ雙方ヲ説ク者ニシテ總ノ事物ニハ生住異滅ノ四相アリ世界ノ變化ニハ成住壞空ノ四劫アリトス生住異滅トハ一事物ノ始メ生起シテ暫時止

住シ次テ變異ヲ呈シ遂ニ壞滅スルヲ云フ故ニ生住ハ進化ニシテ異滅ハ退化ナリ
成住壞空トハ世界ノ成就シテ暫時其形ヲ保持止住シ次ニ破壞シテ遂ニ虛無ニ歸
スルヲ云フ故ニ成住ハ進化ニシテ壞空ハ退化ナリ而シテ此世界ハ常ニ成住壞空
ノ四劫ヲ以テ變化シ合シテ空トナレハ復成リ開キテ世界ヲ現スレハ復遂ニ空ト
ナリ一開一合進化シ退化シテ循環止ムトキナシ是ヲ以テ此世界ハ前ヲ見ルモ無
始後ヲ見ルモ無終ニシテ實ニ不生不滅ナリ若シ此理ヲ推究スル時ハ此世界ニハ
必ス不生不滅ノ本躰ナカルヘカラス是大乘ニ至リテ此世界即チ眞如ト云フ說ノ
起ル所以ニシテ小乘ニ於テ既ニ其一端ヲ示スナリ

色法中無表色ナル者アリ心法中不相應行ナル者アリ共ニ非物非心ナリ無表色ト
ハ吾人善惡ノ業ヲ成サハ必ス其氣身内ニ相續スルヲ云フ恰モ花ヲ手ニ取レハ香
氣ヲ相續スルカ如シ然レトモ肉躰上ニ表知セサルヲ以テ無表色ト云フ是レ心理
學ノ說カサル所ナリ又不相應行ハ是亦心理學上一ノ物柄アリトスルヲ得ス勿論
小乘中ニハ其有無ニツイテ異論アレトモ此宗ニテハ實有ナリトス然レモ此者タ
ル實際物柄ト云フヲ得サル者ニシテ物ト物トノ間ノ關係ヲ云フナリ故ニ物心以

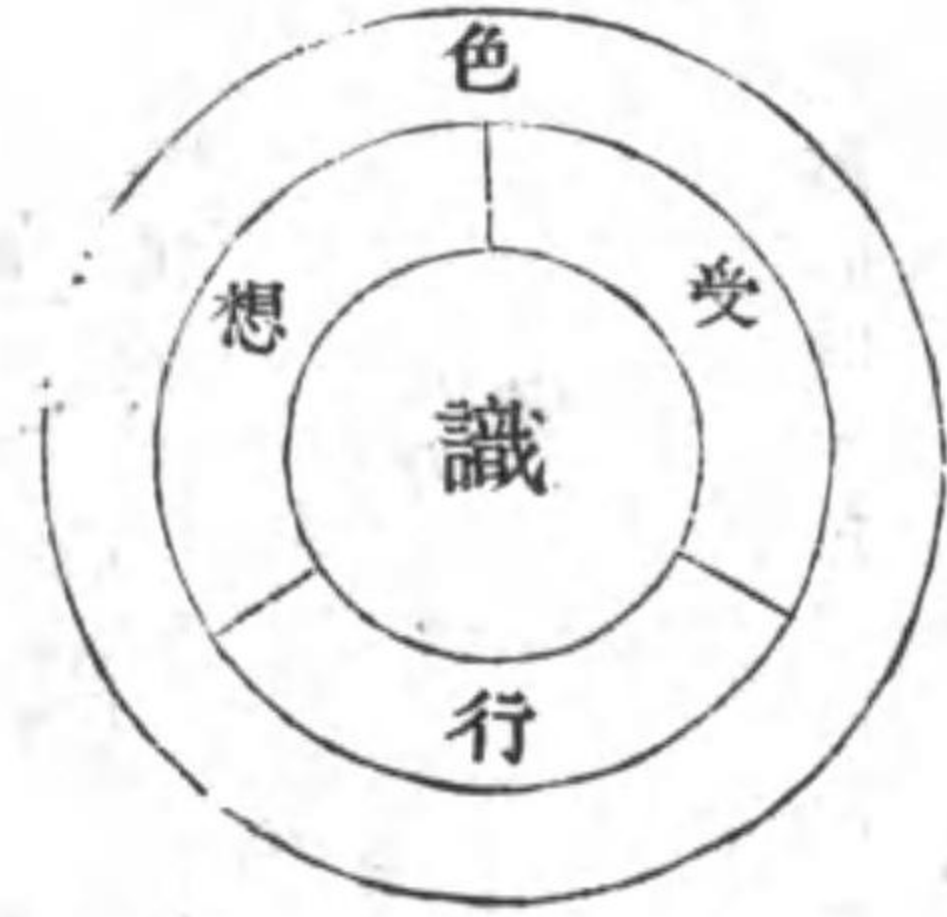


外ニ非物非心ノ一科ヲ設クルコソ却テ適當ナラン歟
心法ニハ心王ト心所トアリ心所ハ心王ニ附屬スルモノニシテ心所有ノ法ナルカ
故ニ名ク今左ニ圖ヲ掲ケテ心界并ニ之ニ對スル

物界ノ分域ヲ示スヘシ心王ハ俱舍宗ニ於テハ之
ヲ六識ニ分ツモ其躰一ナリトス此考ハ心理學ト
少シク異ナル所ニシテ此宗ニハ六窓一猿ノ譬喩
アリ檻中ノ一猿東窓ニ首ヲ出セハ東猿トナリ西
窓ニ出セハ西猿トナル之ト同ク心王ハ一ナレト
モ之カ眼ニ顯ル、時ハ眼識トナリ耳ニ顯ル、時
ハ耳識トナル乃至心ニ働ク時ハ意識トナル故ニ

六識同時ニ作用スルヲ得ス吾人ハ常ニ同時ニ感スル如ク思フモ是レ其移轉ノ神
速ナルカ爲ニシテ其實前後時間ノ異ナルモノナリトス是レ蓋シ心理學ノ神經組
織ノ考ナカリシヲ以テ此ノ如キ説明ヲ與ヘタルモノナラン心王トハ心理學ノ感
覺智力ノ如キモノニシテ眼耳鼻舌身ノ五識ハ感覺ニ屬シ意識ハ智力ニ屬ス又心

所ハ多ク心理學ノ關係スルモノナリ然レトモ之ヲ一々心理學ニ配當スルヲ能ハ
ス蓋シ佛教ハ宗教ヲ目的トスルモノナレハ善惡ヲ説キテ直ニ之ヲ安心立命成佛
得道ニ應用スルナリ以上略述セル七十五法ハ其躰不生不滅ニシテ三世ニ實有ナ



リトスルガ俱舍宗ノ所論ナリ

小乘ノ主トスル所ハ無我ノ理ニシテ宇宙全躰ニハ七十五
法アリ人身ニハ五蘊アリテ我ヲ組織スルモノナレハ本來
我ナルモノナシト説クニアリ五蘊トハ色受想行識ニシテ
蘊ハ集合ノ義ナリ色トハ吾人ノ肉躰ニシテ物質ナリ受ト

ハ外界ノ現象ヲ心内ニ感受スル者ニシテ心理學ノ所謂感
情ナリ想トハ外物ト形象ヲ心内ニ執取スルモノニシテ知覺ニ當ルモノ、如シ行
ハ造作遷流スル者ニシテ心所ノ作用此中ニ收マルナリ識ハ即チ意ニシテ心王是
ナリ此五蘊相集合シテ以テ我ヲ組織ス即チ我ノ體ハ色心二元ナリ甲モ乙モ皆色
心二元ノ集合ニシテ五蘊ヲ分テハ彼我ノ差別ナシ故ニ集合スレハ我ト爲ルモ其
實我ノ實體ナシ俱舍宗ハ此理ニ由リテ無我ヲ説キ道德上ノ惡行ハ我ヲ信スルヨ

リ生スル者ニシテ若シ五蘊離散シテ我ナキヲ知ルハ我ノ爲ニスル欲念ノ起
ルヘキ理ナシ此ノ如ク我ノ躰ハ存セスト雖モ五蘊其者ノ躰ハ實ニ存スル者ナリ
トス故ニ俱舍宗ヲ名ケテ我空法有宗ト稱ス而シテ此説ヨリ一步進ミタル者ハ成
實宗ニシテ此宗ハ我ノミナラス法ヲモ空ナリトス故ニ之ヲ有宗中ノ空門トス俱
舍宗ノ説ト雖モ通俗ノ信スルカ如キ我有法有説ニ對スレハ空門ト云ハサル可ラ
ス此我ト法トヲ空シ終レハ眞如ノ理此ニ始テ顯ハル眞如ノ理ハ本來存スルモノ
ナレトモ俱舍宗ハ唯表面ノ觀察ニ止ルヲ以テ其裏面ヲ知ラス故ニ俱舍宗ハ大乘
ニ入ルノ方便階梯ナリ然レトモ之ヲ方便ナリトシテ捨ツヘキニアラス方便即チ
眞實ニシテ方便ナクハ亦眞實ノ顯ハル、コナシ以上俱舍宗法躰恒有説ヲ略述セ
シガ次ニ俱舍宗ト西洋哲學トノ比較ヲ述ブベシ

佛教ノ有空中ノ三宗ハ純正哲學ノ物躰心躰理躰ノ三哲學ニ配當スヘキコトハ既ニ
述ヘタリ其中俱舍宗ハ法躰恒有ヲ唱フルカ故ニ物躰哲學ニ配シテ可ナリ俱舍宗
ト唯物論トハ比較スルニ二者相似タル點アリ一ニ其講究スル所共ニ分析論ニシ
テ二ニ其論法共ニ万有ノ觀察ヨリ起ル三ニ俱舍宗ノ無我ヲ證明スル道理ハ唯物

論ノ心存セストスル説ニ近シ四ニ俱舍宗ノ灰身滅智ヲ談シ空寂ノ涅槃ニ歸スルヲ説クハ唯物論ノ死後ニ精神世界ナシトスルニ近シ故ニ俱舍宗ハ唯心論ヨリ唯物論ニ近シト云フヘシ然レトモ二者同一ナルニハアラス俱舍宗ハ物心二元ヲ立テ唯物論ハ唯物一元ヲ主唱ス又万有ノ分析各々異ナリテ俱舍宗ハ感覺即チ心ノ部類ニヨリテ外界ヲ區別スルモ唯物論ハ然ラス故ニ俱舍宗ハ唯物論ト唯心論トニ似タル點アリ之ヲ唯物論トセハ主觀的唯物論ト云ハサルヘカラス要スルニ俱舍宗ハ物心二元論ニシテ唯物論ノ研究法ニ似タル所アリテ物體哲學ニ屬スルナリ

成實宗

佛教ハ無我ヲ本トシテ起ル者ニシテ我空ヨリ進ミテ法空ニ至ルナリ故ニ佛教中ノ哲學ハ我法二空ノ理ヲ説キ宗教ハ此理ヲ實際ニ應用スルナリ俱舍宗ハ先ツ始メニ無我ノ真理ヲ示ス然レトモ尙ホ宇宙ニハ七十五躰ノ存スルヲ説ク故ニ俱舍宗ハ我ハ空ニシテ法ハ有ナリトスルナリ然ルニ成實宗ハ一歩進ミテ我法共ニ空ナリト説ク例ヘハ茲ニ水ヲ充タセル一瓶アリ瓶中ニ水ナシトスルハ我空ニシテ

其瓶躰モ實ナシト觀スルハ法空ナリ是レ成實宗ノ所論ナリ然ラハ成實宗ハ大乘トシテ可ナルカ勿論成實宗ハ一分大乘ト云フモ可ナリ然レトモ尙ホ未タ眞ノ大乘ト云フヲ得ズ成實宗ハ理論上我法二空ヲ談スルモ實際上此レヨリ起ル迷執ヲ脱却スルヲ得ズ其迷執ニハ煩惱所知ノ二障アリテ我アリト執スル者ヲ煩惱障ト云ヒ法アリト執スルモノヲ所知障ト云フ其中煩惱障ハ知リ易ク離レ易シ然レトモ所知障ハ之ヲ斷スルヲ難シ成實宗ハ實際上煩惱障ヲ斷スルモ所知障ヲ斷スル能ハス是レ此宗ノ多少大乘ニ似タルモ未タ大乘トスルニ足ラスト云フ所以ナリ

小乘大乘ノ區別

小乘大乘共ニ空ヲ主唱スレトモ其間ニ異點アリ小乘ハ析空ニシテ分析上ノ空ナリ大乘ハ躰空ニシテ分析ヲ待タス其躰直チニ空ナリトス是レ蓋シ智識ノ程度ノ高下淺深ヨリ生スル者ナリ或ハ此ヲ但空不但空ト云フ即チ小乘ハ空ノ一邊ニシテ單純ノ空ナリ大乘ハ空中ニ在リテ妙空ナリ若シ一般ニ小乘大乘ヲ區別セハ之ニ理論上ト修行上トノ區別アリ乘トハ運載ノ義ニシテ小乘ハ小人ヲ運載シ大乘ハ大人ヲ運載ス小人トハ聲聞緣覺ニシテ大人

トハ佛菩薩ナリ是レ同一ノ人類ニシテ其機根大小高下ノ別アルヲ以テナリ今理論上ヨリ區別セハ小乗ノ道理ハ淺近ニシテ大乘ノ道理ハ深遠ナリ小乗ノ説ク所ハ我空法有ニシテ大乘ハ我法二空ナリ假令成實宗ノ如キハ多少我法二空ノ理ヲ知ルト雖モ空中ニ妙味ノ存スルヲ知ラス然ルニ大乘ハ空中ニ在アリテ其空又妙空ニシテ中道ノ理ヲ離ル、ヲナシ又修行上ヨリ區別セハ小乗ハ自利ノ一邊ニシテ大乘ハ自利利他ヲ兼備ス故ニ大乘ヨリ見レハ小乗ノ修行ハ佛ト成ルヲ得ス即チ小乗ノ果ハ聲聞緣覺ニ止リ大乘ハ眞ノ佛菩薩トナルヲ得凡ソ人ノ機根ニハ大小ノ差アル者ナレハ其修行モ亦異ナラサルヲ得ス既ニ修行異ナレハ之ヨリ得ル結果モ亦異ナラサルヲ得ス而シテ小乗ハ煩惱障ヲ斷スルモ所知障ヲ斷スルヲ得サルヲ以テ其結果大乘ニ比シテ遙ニ劣等ナルモノナリ

法相宗

有空中三宗ノ中空中ノ二宗ハ大乘ナリ而シテ空宗中又有門ト空門トアリ有門ハ法相宗ニシテ空門ハ三論宗ナリ今法相宗ノ大意ヲ講述スルニ第一小乗ト法相宗トノ異同第二ニ唯識所變ノ原理第三ニ法相宗ト中道宗トノ關係ノ三段ニ分チテ

講スヘシ

第一小乗ト法相宗トノ異同 小乗ハ我空法有ヲ説キ所知障ヲ斷スル能ハスト云フ點ニ於テ大乘ト區別セラルルコトハ既ニ陳述セリ更ニ此區別ヲ明ニセシ爲ニ煩惱障ト所知障トニ就テ陳述スヘシ煩惱所知ノ二障ハ我法ノ上ヨリ生スル者ニシテ我ハ個人ノ上ニ云ヒ法ハ万有ノ上ニ云フ我ノ上ニ起ル者ヲ我執ト云ヒ法ノ上ニ起ル者ヲ法執ト云フ而シテ我執ヨリ起ルヲ煩惱障ト云ヒ法執ヨリ起ルヲ所知障ト云フ而シテ此二障ニ又各分別俱生ノ二種アリ分別ハ有意識ニシテ俱生ハ無意識ナリ分別起ハ其性質麤ニシテ斷シ易ク之ヲ斷スル者ヲ見所斷ト云ヒ俱生起ハ其性質細ニシテ斷シ難シ之ヲ斷スルヲ修所斷ト云フ煩惱障ハ領知シ易クシテ涅槃ヲ障ヘ所知障ハ領知シ難クシテ菩提ヲ障フ涅槃ト菩提トハ共ニ眞如ヲ顯ハスモノニシテ涅槃ハ眞如ノ理ニシテ菩提ハ眞如ヲ悟ル智慧ナリ吾人ハ煩惱障アル爲ニ眞如ノ理ヲ悟ルヲ得ズ所知障アルカ爲ニ之ヲ悟ルノ智慧ヲ得ズ然レトモ此點ハ哲學ヨリ寧ロ宗教ニ關スルナリ之ヲ要スルニ個人ト万有トノ上ニ執スル之ヲ迷ト云フ俱舍宗ニ於テハ人ノ互ニ爭フハ畢竟我アリト執スルカ爲ナリト無

所ヲ主唱スレトモ此世界ノ根原タル七十五法ハ實有ナル者ト信シ眞如ノ妙理アルヲ知ラス然ルニ法相宗ハ個人ノ上ノミナラス万有ノ上ニモ其躰ナク總テ心ノ上ノ現象ナリトシ煩惱所知ノ二障共ニ斷ス是レ此宗ノ小乗ノ上ニ位スル所以ナリ然レトモ小乗ハ大乘ニ至ルノ階梯ニシテ小乗ノ雲霧ヲ拂ヒ了リテ此ニ大乘ノ光明ヲ發揮スルヲ得ルナリ又小乗ハ其見ル所事界ニ止ルモ大乘法相宗ニ至レハ事理ノ二界アルヲ知ル是レ蓋シ小乗ノ万有ヲ分析シテ法躰恒有ナルヲ知リタルヲ以テ更ニ進テ恒有ノ裏面ニ或ル理躰ノ存スル所以ヲ發見スルニ至リタルナリ第二唯識所變ノ原理 法相宗即チ唯識宗ハ宇宙万有ヲ分析シテ百法トス之ヲ俱舍宗ニ比スルニ俱舍宗ノ七十五法ニ二十五法ヲ増ス是レ大乘ハ小乗ヨリ其智識進歩セルヲ以テ其分析モ從テ細密トナリタルナリ即チ無爲法ニ三有爲法ニ二十ニテ増セリ其表左ノ如シ

色法十一
五境
法處所攝色、即チ意境(第六識所緣境)

(有爲法九十四)

(眼耳鼻舌身五識)

百法
無爲法六
虛空 擇滅 非擇滅 不動 想 愛 眞如
心法八十三
心王八 第六意識 第七末那識 第八阿賴耶識
心所五十一 遍行五 別境五 善十一 隨煩惱六 不定四
心不相應二十四
有爲法ハ事界ニシテ無爲法ハ理界ナリ小乗ノ無爲ハ未タ眞ノ理界ニアラスシテ唯眞如ノ一部分ヲ假名セシニ過キサレトモ法相宗ハ全ク理界ヲ指シテ云フ無爲六法ノ中前ノ五ハ畢竟眞如ノ一ニ歸スルモノニシテ唯識論ニハ之ヲ此五皆依眞如假立ト云ヘリ而シテ事界ハ總テ心ノ中ニ收マルモノニシテ唯識論ニ實無外境唯内識似外境生ト云ヘリ即チ事界ハ第八阿賴耶識中ニ含藏セル種子ヨリ開發シタルモノナリ然ラハ無爲法ハ眞如ニ歸シ有爲法ハ第八阿賴耶識ニ藏マルナリ俱舍宗法相宗共ニ三科ト云フヲ說ク三科トハ即チ左表ニ示スカ如シ

五蘊(色受想行識)

三科 十二處 (六根(眼耳鼻舌身意) 六境(色聲香味觸法))

(法○小乘、心所、不相應、三無爲、無表色、大乘、意境、心所不相應、六無爲、)

十八界 (六根 六識(眼耳鼻舌身意))

三科トハ蘊處界ノ三ナリ俱舍論ニヨルニ蘊ハ積聚ノ義、處ハ生門ノ義、界ハ種類ノ義ナリ即チ蘊トハ色受想行識ノ五蘊積聚集合シテ我ノ躰ヲ組織スルヲ云ヒ處トハ六根六境ノ識ヲ發生スル門トナルヲ云ヒ界トハ一身中ニ十八ノ種類ヲ有スルヲ云フ(六境中ノ法トハ七十五法或ハ百法ニ照セハ小乘ハ心所、不相應、三無爲、無表色ヲ云ヒ大乘ニハ意境、心所、不相應、六無爲ヲ云フ)以上ハ大躰上ノ區別ニシテ此區別ヨリ外境ト心トノ關係又八識相互ノ關係ヲ説明スルカ唯識所變ノ原理ノ起ル所以ナリ

佛教中ニ心意識ノ區別アリ固ヨリ小乘ニハ此區別ナクレトモ法相宗ニハ其區別ヲ爲ス識ハ了別ヲ義トシ種々分別スル作用ニシテ心理學ノ所謂知覺是ナリ然レ

トモ識ハ單ニ知覺ノ意味ノミニアラズ知覺ハ五感上ノ作用ナルモ識ハ心内ニ起ル作用ヲ含ム故ニ若シ知覺ニ内外ノ二アリトセハ此識ニ相當スヘシ意ハ思量ヲ義トシ心理學ノ所謂思想作用之ニ相當ス心ハ集起ヲ義トシ一切ノ諸法此中ヨリ集メ起スヲ以テ其名アリ此心ノ總躰ヲ指スモノニシテ心理學上心躰ニ配スルモ可ナラソ然レモ此心ハ心躰ノミナラス心全躰ヲ包括スル者ナリ之ヲ八識ニ配當セハ眼耳鼻舌身意ノ六識ハ識ニ相當ス其中前五識ハ外知覺ニシテ第六意識ハ内知覺ナリ此意識ニ五俱ノ意識ト獨頭ノ意識トノ二アリ五俱トハ前五識ト俱ニ起リ獨頭トハ獨立シテ起ル第七末那識ハ即チ意識ナリ末那茲ニ譯シテ意ト云フ然ルニ第六識ヲ意ト名クルハ第七識ニ依テ起ル故ナリ而シテ第八阿賴耶識ハ心意識中ノ心ニ相當ス阿賴耶トハ茲ニ譯シテ藏ト云フ一切諸法ノ種子ヲ包藏シ其中ヨリ一切方法ヲ開發スル者ナリ此八識ハ互ニ相關係シテ成立シ前六識ハ第七末那識ニ依リ第七識ハ第八阿賴耶識ニ依リテ成立ス故ニ第八阿賴耶識ハ一切ノ心ノ本原ニシテ又一切万有ノ根本ナリ

小乘ニ於テハ六識ヲ説キ大乘ニ於テハ八識ヲ説ク故ニ第七識以上ハ小乘ノ知ラ

(四八)
 サル所ナリ第七末那識ハ第八阿頼耶識ノ見分ヲ所縁トシテ我ナリ法ナリト思量
 スル作用ニシテ少乘ニハ我法ハ心ノ中ノ何レヨリ生スルカ明ナラサリシモ大乘
 ニ至リテ我法二執ノ起ルハ第七識ニアリトス此識ハ心理學ニ於テ説カサル所ニ
 シテ獨リ佛教ニ之ヲ説クハ宗教上ニ迷妄ノ起ル本源ヲ論定スルノ必要アルニヨ
 ル是ニ於テ第七識ヲ以テ我法二執ノ起ル處トス阿頼耶識ハカントノ所謂自覺ノ
 躰ニシテ内界外界ノ作用皆此中ヨリ集起スルモノトス此第八識ヲ立ツルヲ以テ
 法相宗ハ唯心論ニ屬スルナリ

第八阿頼耶識ト前七識トノ關係ヲ述ベシニ此關係ニ能藏、所藏、執藏ノ三義アリ一
 ニハ前七識ト阿頼耶識トヲ對比シテ阿頼耶識ヲ以テ能藏トス即チ阿頼耶識ノ中
 ニ七識ノ種子ヲ含藏シ此種子ヨリ開發シテ種々ノ現象ヲ現示スル者ナレハ阿頼
 耶識ハ能藏ノ位置ニアリ二ニ前七識ヨリ阿頼耶識ニ種子ヲ與フルヲ以テ阿頼耶
 識ハ所藏トナル即チ阿頼耶識中ノ種子ハ前七識ヨリ植エタル者ニシテ恰モ春月
 種子ヲ下シテ秋時ニ果實ヲ得復翌年之ヲ植ウルカ如シ阿頼耶識中ノ種子發生シ
 テ七識トナリ實リテ再ヒ種子ヲ阿頼耶識ニ與フ故ニ阿頼耶識ハ能藏トナリ又所

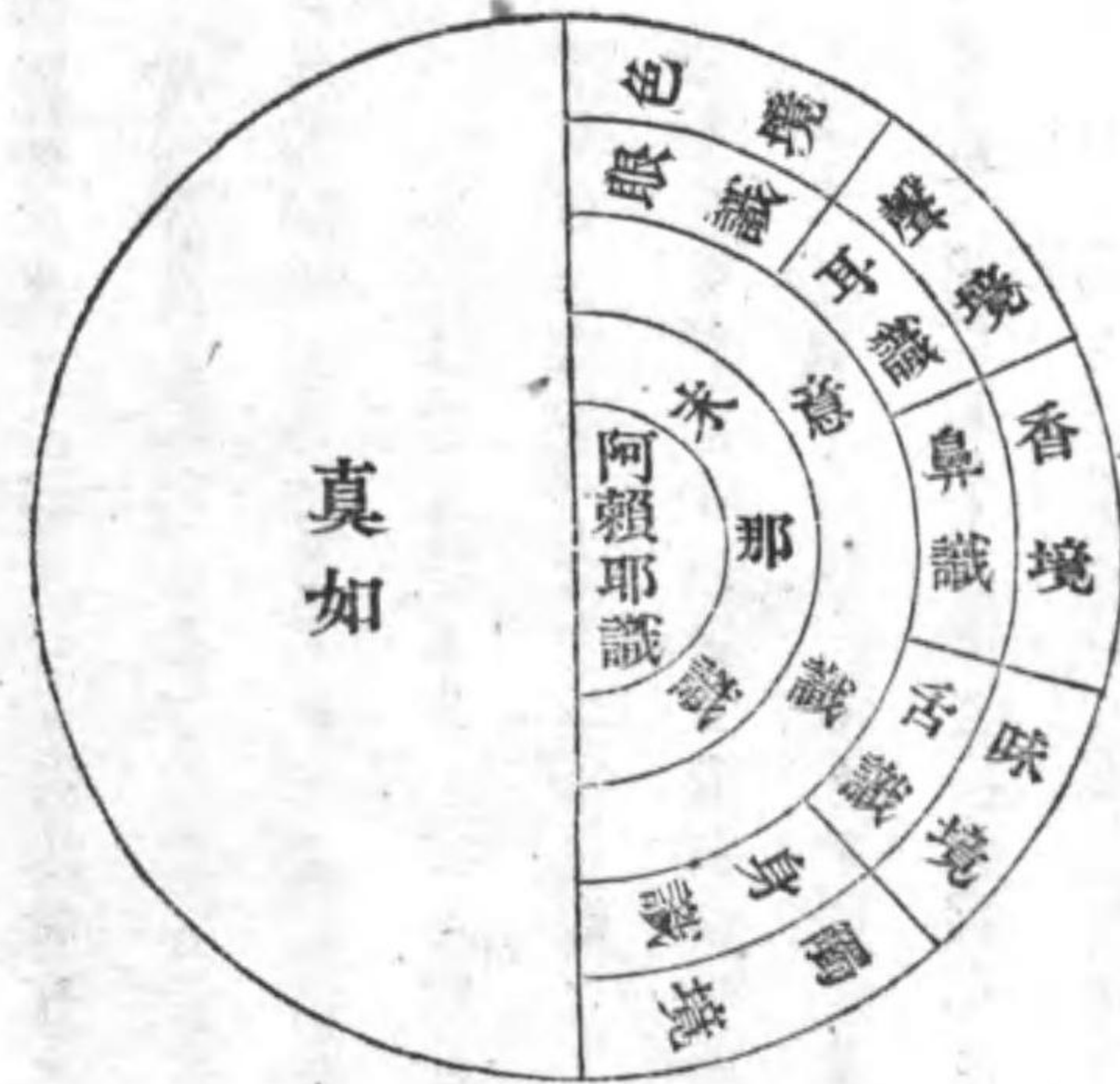
藏トナル而シテ三ニ執藏ト云フハ七八兩識ノ比較ニシテ第七識ハ第八識ノ見分
 ナ縁シテ我ナリ法ナリト執スル識ナレハ之ニ能執藏、所執藏ノ二アリ即チ第七識
 ハ第八識ニ對シテ我法ノ執ヲ起スカ故ニ能執藏ニシテ第八識ハ所執藏ナリ故ニ

曰フ第八阿頼耶識ニハ能藏、所藏、執藏ノ三義アリト
 第八阿頼耶識ニ一切方法ノ種子ヲ收藏スルコトハ既ニ述ヘタリ其種子ニ本有ト新
 薰トアリ本有種子トハ本來阿頼耶識中ニ具ハル種子ニシテ新薰種子トハ他ヨリ
 與ヘタル種子ナリ本有種子ハ心理學上吾人ノ智識ハ本來固有スルモノナリト説
 ク所ノ本然論者ノ説ニ同シク新薰種子ハ人智ハ本來固有スルモノニ非ラスシテ
 經驗ヨリ生スル者ナリトスル經驗論者ノ説ニ同シ此點ニツイテハ佛教中ニモ異
 説アリ今唯識論ニヨルニ護月ハ一切ノ種子ハ本有ナリトシ之ニ反シテ難陀ハ一
 切皆薰習セシモノナリトス而シテ護法ハ之カ折衷説ヲ唱ヘ諸法種子各有本有始
 起二類ト云ヘリ(始起トハ薰習ナリ)即チライブニツノ本然説ハ護月ノ本有論ニ類
 シロックノ經驗説ハ難陀ノ薰生論ニ似タリ而シテカントガ二者ヲ統合シ一半ハ本
 然一半ハ經驗トセシハ護法ノ折衷説ニ相當ス蓋シ本有新薰ハ執レテ先トシ執レ

チ後トスルヲ難ク今年ノ種ハ去年ノ實ヨリ生シ去年ノ種ハ其以前ノ種ヨリ出ツ
 此ノ如ク古ニ遡レハ無限ニシテ歸止スル所ナシ即チ今年ノ本有ハ前年ノ新薰ニ
 シテ前年ノ新薰ハ前々年ノ本有ナリ故ニ之ヲ無始ノ本有無始ノ新薰ト云フ於是
 一種ノ原理ヲ定メテ種子生現行現行薰種子ト云ヒ種子開發シテ一切ノ方法ヲ生
 シ方法復タ種ヲ薰シ來往循環シテ際限ナキコトヲ顯ハス
 此唯心說ヲ立ツルニ四分ト云フアリ四分トハ相分見分自證分證自證分ナリ相
 分トハ外界ノ現象ヲ云フ心理學ニテ之ヲ云ヘハ影像トモ名クヘシ見分ハ相分ヲ
 認ムル者ニシテ即チ知覺ナリ然レトモ又知覺ト云フヲ得サル場合モアリ自證分
 ハ見分ヲ認ムル者ニシテ之ヲ自知ト云ハ、可ナランカ證自證分ハ又自證分ヲ認
 ムル者ニシテ自知ノ自知ナリ又共變不共變ト云フアリ吾人ハ外界ヲ見ルニ當
 リ他人ト共ニ變スルモノアリ變セサルモノアリ即チ甲乙共ニ或一物ヲ見テ相合
 スルハ共變ニシテ相合セサルハ不共變ナリ是皆唯心論ヲ組織スル論據ナリ
 要スルニ法相宗ノ唯心論ハ各人的唯心論ニシテ各人有スル所ノ第八阿賴耶識中
 ニ一切方法ヲ顯現スルヲ說ク故ニ相對性唯心論ナリ差別的唯心論ナリ而シテ

現行薰生相待チ顯ハル、ヲ說クハ法相宗特有ノ唯心論ナリ
 第三法相宗ト中道宗トノ關係 凡ソ佛教ニテ非有非空ト說ク者豈ニ獨リ中道宗
 ノミナランヤ法相宗亦既ニ之ヲ說クリ法相宗ニ於テハ有空中ノ三時教ヲ立テ以
 テ一代ノ教ヲ判ス有ハ小乘ノ法ヲ指シ空ハ般若皆空ノ說ヲ指シ中ハ正シク唯識
 中道ノ教ナリトス之ヲ證明スルニ三性ノ說アリ三性トハ遍計所執性依他起性圓
 成實性是ナリ遍計所執性ハ小乘ノ實我實法アリト固執スルヲ云ヒ依他起性ハ實
 我實法ノ躰ナシト雖モ他ノ因緣ニヨリテ假ニ差別ノ現象ヲ示スヲ云ヒ圓成實性
 ハ眞如ノ躰ヲ義トシ其躰眞實ニシテ本來實在スルヲ云フ即チ遍計所執ハ空ニシ
 テ依他圓成ノ二性ハ有ナリ此世界ハ非有ナリト雖モ因緣ニヨリテ生スル故ニ亦
 非空ナリ故ニ非有非空ノ中道ヲ以テ眞理トス而シテ此中道ニ三性對望中道ト一
 法中道トアリ則チ一ハ遍依圓三性ヲ對照比較シテ中道アリトシ一ハ遍依圓三性
 各其一性ニ中道ノ理アリトシ遍計ノ空ノ中ニモ自ラ中道ヲ有シ依圓ノ有ノ中ニ
 モ自ラ中道ヲ具スルヲ云フ故ニ此ニ由テ之ヲ觀レバ此宗ハ中道宗ト許スモ不可
 ナルヲナキカ如シ然レトモ此宗ノ所謂中道ハ事理兩界隔歷セル中道ナリ事界ニ

ハ阿頼耶識ヲ以テ本トシ理界ニハ真如ヲ以テ本トシ真如ノ理直ニ此世界ヲ顯ス
ニアラスシテ真如凝然不作諸法ト云ヒ真如ハ全ク現象以外ニ獨立シ一切諸法ハ
阿頼耶識中ヨリ開發スルモノナリトス此ノ如ク此宗ハ事理二界相隔離スレトモ
天台宗以上ニ至レハ理界ヨリ直ニ事界ヲ生シ其間融通自在ナリ今法相宗ノ宇宙
分析論ヲ圖ヲ以テ示ス左ノ如シ



又法相宗ハ阿頼耶識中ニアル種子ニ差別アルヲ説ク故ニ此宗ヲ又三乘各別宗ト
云フ三乗トハ聲聞緣覺菩薩ナリ之ニ人天ヲ加ヘテ五性トシ五性各別ヲ説ク五性
トハ一ニ定性聲聞二ニ定性緣覺三ニ定性菩薩四ニ不定種性五ニ無性有情ナリ第
一ハ聲聞トナルヘキ種子ヲ具フルモノ第二ハ緣覺トナルベキモノ第五ハ聲緣菩
ノ何レニモ成ルヲ得サルモノナリ而シテ第三ノ定性菩薩ト第四ノ不定種性トノ
ミ成佛スルヲ得此五性ヲ以テ一切衆生ヲ區別シ阿頼耶識中ニ其種子アルヲ説
ク是即チ差別論ナリ然ルニ實大乘ニハ一切衆生悉有佛性ト云ヒ草木國土悉皆成
佛ト説クヲ以テ法相宗ハ實大乘ノ説ヲ指シテ方便ナリトシ一乘方便三乘眞實ト
云フ然ルニ實大乘ハ之ニ反シテ三乘方便一乘眞實ト云ヒ互ニ自己ノ法ヲ以テ最
勝眞實ノ教トナス蓋シ此相異ノ生スル所以ト法相等ノ權大乘ハ實際ヨリ説キ實
大乘ハ理論ヨリ論スルヲ以テナリ即チ實際上ニハ一切衆生悉皆成佛スルヲ許
シ難キモ理論上ニハ眞如開發ノ理ヲ説クカ故ニ悉皆成佛ヲ説クヲ得ヘシ
次ニ法相唯心論ト西洋哲學唯心論トノ比較ヲ述ヘンニ西洋唯心論者ハ英ニバ
クレー獨ニカント、フヒテアリ之ニ法相宗ヲ比スルニ何レニモ異ナリ然レトモ強

(五四)

テ之ヲ比較センニ佛教中ニモ唯心論ニ二種アリ一ハ世俗唯心論ニシテ法相ノ如キ相對差別上ノ說ト一ハ勝義唯心論ニシテ起信天台ノ如キ眞如其者ノ作用上ニ立ツル說トアリ而シテパークレイノ說ハ法相ニ近クカント、フイヒテノ說ハ起信天台ニ似タルカ如シパークレイノ唯心論ハロククノ說ニ本キテ起リシ者ニシテロククハ物心ノ關係ニ就キテ物ニ二種ノ性質アルヲ說キ第一種ハ方圓曲直ノ如キ性ニシテ第二種ハ音聲寒暖ノ如キ性ナリ前者ハ物ニ附屬ス後者ハ感覺ニ屬ス即チ前者ハ客觀上ニアル性質ニシテ後者ハ主觀上ニアル性質ナリ故ニ前者ハ何人モ同一ナルモ後者ハ人ニヨリテ異同アリト云ヘリ然ルニパークレイハ外物ノ大小方圓等ハ吾人ノ感覺ノ知ル所ナレハ第一種ノ性質モ主觀上ニアリトシ且ツ氏ハ感覺モ感情モ之ヲ總括シテ觀念ト稱シ世界ハ此觀念ノ上ニ成立スル者ナリトセリ是レパークレイノ說ヲ唯心論トナス所以ナリ然レトモ氏ハ觀念ノ本源ヲ以テ神トシ世界ハ神ノ創造セル者ナルヲ說ク此說ヲ法相ニ比スルニ稍似タル所アリ二者共ニ相對現象上ノ論ニシテ又パークレイノ所謂神ハ法相ノ眞如ト異ナレトモ阿頼耶識ノ本體ヲ眞如ト立ツル點ヨリ見レハ其眞如ト神ト稍類似スル所

アリ之ニ反シテカント、フイヒテノ唯心論ハ現象ヲ超エテ本體上ニ唯心ヲ說ク者ナリ其中カントハ心ノ本體中ニ物象心象アリテ物ノ本體ハ心體以外ニアリトシフイヒテハ物體モ亦心ノ中ニアリトス即チフイヒテハ絕對的の我ヲ本トシテ此上ニ物心ノ現象ヲ示スト說クヲ以テ完全絕對ノ唯心論ハフイヒテナリ而シテフイヒテカ絕對的の我ヨリ此世界ヲ發生シ我自身カ自己ヲ確ムル爲ニ非我ヲ生スト云ヒシハ起信論ニ眞如其者ヲ取テ一心トシ開イテ眞如生滅ノ二門トシタルニ類似セリ故ニフイヒテノ說ハ起信以上ノ說ニ相當スト云フヘシ又法相ノ唯心論ハ或部分ニ於テ多少カントニ類似スルヲ見ル即チ法相宗ニ種子現行ノ交互相須ツ所以ヲ說クハカントノ本然經驗ノ二論ヲ結合シタルニ近シ又一方ヨリ見レハ法相モ宇宙ノ分析上ニ有爲無爲兩界ヲ分ツヲ以テカントト全シク二元論ニシテ其唯心ヲ唱フルハ事界上ニアリ固ヨリ其二元ノ立テ方ハ雙方全ク異ナレトモ其間ニ多少近似スル所アリ

三論宗

大乘空宗中有門ト空門トアリ其空門ハ即チ三論宗ナリ是亦論理發達ノ順序ニシ

テ法相ヨリ一步ヲ進メハ三論トナルナリ法相宗ハ前述セシ如ク遍依圓ノ三性中
 依他起性ハ有ナリトセシカ此宗ハ尙之ヲモ空ナリトス是レ往古護法清辨ノ大議
 論ヲ爲シタル點ナリ此宗ハ一切有ト執着スル念ヲ悉ク掃蕩シ毫モ執着ノ點ヲ止
 メサルヲ以テ目的トスサレハ三論ノ要旨ハ破邪顯正ニ外ナラスト云フト雖モ破
 邪ヲ離レテ顯正ノアルニアラス破邪シ盡シタル所即チ顯正ニシテ其破邪ハ吾人
 有所得ノ妄見ヲ空スルナリ之ヲ空シ終レハ此ニ眞如ノ妙理ヲ顯ハス是即チ顯正
 ナリ此理ヲ證明スルニ八迷ト云フコアリ八迷トハ生滅去來一異斷常ナリ此八迷
 ヲ空スルヲ八不ト云フ八不トハ不生不滅不去不來不一不異不斷不常ナリ八迷ハ
 吾人ノ有ヲ分析セル者ニシテ若シ之ヲ眞如ノ妙理ヨリ見レハ生滅去來等ノ差別
 アルナシ此八迷ヲ一切空シ終リ一點ノ滯礙ナキニ至リ始メテ妙理ニ達ス而シテ
 吾人ノ事物ニ執着シ妄論ヲ爲スモノ之ヲ此宗ニ戲論ト云フ戲論ニ愛論見論ノ二
 種アリ愛論ハ取着ノ心ヲ生スルヲ義トシ情感上執着スル者ヲ云ヒ見論ハ決定ノ
 解ヲナスヲ意味シ智力上偏信スル者ヲ云フ此ノ如キ智情ノ上ニ生スル一切有所
 得ノ見ヲ打破シ無所得ノ理ヲ顯ハスハ八不ナリ此八不ハ約スレハ不主ノ一ニ歸

シ開ケハ無數ノ不ヲ生ジ一切不ナラサルナク此不ノ理ヲ說示スルハ三論ノ目的
 ナリ故ニ天台ノ論ハ具ノ一字ニ攝マリ三論ノ法ハ不ノ一字ニ收マルト云フ
 三論宗ハ一方ヨリ云ヘハ空ノ極端ニ達シタル消極論ナリ蓋シ眞ノ道理ハ歸スル
 所有トモ空トモ言ハルヘキモノニアラス言語ニヨリテ眞如ノ理ヲ說ケハ是既ニ
 言語ノ制限ヲ受ケタルモノナリ啻ニ言語ノミナラス之ヲ心ニ思考スルモ亦制限
 ヲ受ケルモノナリ眞ノ不可思議ノ妙理ハ實ニ言亡慮絶ニシテ此點ニ至レハ無言
 無思ノ間ニ妙味アリ然ラハ此眞理ヲ開顯センニハ一切ノ有ヲ空ニ盡サ、ルヘカ
 ラス即チ有所得ヲ破シテ無所得ヲ顯ハス有所得トハ心ニ寸毫ノ有タモ存セサル
 ナリ故ニ此ニ至リテハ有ト云フモ空ト云フモ非有ト云フモ非空ト云フモ廣大無
 限ノ眞理ヲ顯ハスヲ得ズ然ラハ眞ノ不可思議ノ理ハ毫モ知ルヘカラサルカ否全
 ク知レサルニアラス分ラサル中ニ自ラ分ル味アリ之ヲ妙ト云フ此妙ハ即チ佛教
 ノ極意ヲ示セルモノナリ三論宗ハ蓋シ此妙ニ達スル道ヲ開キタルモノニシテ妙
 ニ達センニハ有ラユル制限ヲ排除セサルヘカラス若シ之ヲ悉ク空ニ終レハ眞理
 湛然トシテ此ニ顯ハルサレハ八宗綱要ニ八不妙理之風拂妄想戲論之塵無礙正觀

之月浮一實中道之水ト云ヘルモノ是レ三論ノ要旨ヲ盡シタル至言ト謂フヘシ
三論宗ト禪宗ト類似セル所アリ然ルニ禪宗ノ人ハ云フ三論ハ空スルノミ禪ハ空
シ盡シテ真理ヲ開キ出タス是レ禪ノ三論ニ勝ル所以ナリト然レトモ三論モ亦真
如鏡面ノ塵埃ヲ掃蕩スルノミナラス破邪シ終レハ真如ノ月光求メスシテ顯ハル
之ヲ名ケテ妙空ト曰フ然ラハ二宗ノ此點ニ於テ類似スト云フモ敢テ不可ナルコ
トナクン

三論宗ヲ西洋哲學ニ比較スルニ稍ヒュームノ懷疑學ニ近キ所アリヒュームハ物心万
境ヲ空シ盡シ物モ心モ真理モナシト排斥セリ是レ三論ノ一切有テ空スル消極的
ノ論ニ類似セリ然レトモ三論ノ消極ハ積極ニ達スル階梯ニシテ破邪即顯正ナリ
故ニ此點ハ懷疑學ト全ク異ナレリ元來佛教ト西洋哲學トハ其ノ基礎ヲ異ニシ哲
學ハ單ニ道理ヲ研究スルヲ目的トシ佛教ハ道理上研究ノ結果ニヨリテ轉迷開悟
スルヲ目的トスルモノナレハ三論ノ消極亦決シテ西洋哲學ノ消極ニアラス然リ
而シテヒュームハカントノ先鞭ヲ着ケタルモノニシテヒュームガ從來ノ哲學者ノ議
論セル物心現象上ノ理ヲ悉ク破壊シタル爲ニカントハ物心本體ノ理ヲ發明スル

ニ至レリ是レ三論ノ破邪ヲ以テ一切有テ所得ノ見ヲ空シ以テ中道諸宗ノ妙理ヲ發
見スルニ至ラシメタル順序ニ似タリ

起信論

三論宗ヨリ一步進メハ其裏面ナル中道ノ理顯ハル此理ヲ説クモノハ天台宗ナリ
然レトモ天台ヲ論スル以前ニ方リテ陳ヘザルヘカラサルモノハ起信論ナリ
佛教上道理ヲ説明スル方法ニ二種アリ一ハ存立論ニシテ一ハ開發論ナリ存立論
ハ事物ノ既ニ成立セル状態ニ就キテ論シ開發論ハ事物ノ發達分化スル順序ニ就
テ論ス故ニ存立論ハ又實相論ト稱シ直ニ事物ノ本體又之レト万有トノ關係ヲ説
キ開發論ハ又緣起論ト名ク事物ノ生滅緣起ヲ説ク俱舍宗ハ万有ヲ分析シテ説ク
所ノ存立論ニシテ天台宗ハ其物ノ當體ニツイテ論スル實相論ナリ故ニ二宗ノ説
ク所事理ノ別アリト雖モ其存立論ナルコトハ共ニ全一ナリ又法相宗ノ賴耶緣起ヲ
説キ實大乘ノ真如緣起ヲ説ク如キハ共ニ開發論ナリ起信論ハ一心二門三大ト次
第ヲ立テ、真如緣起ヲ説クカ故ニ是レ又開發論ナリ然レトモ起信論ノ開發論ハ
法相宗ニ異ナリテ法相ハ事界ノ上ニ限り起信ハ事理兩界ニ亘リテ説クモノナリ

起信論ニハ一心ヲ開キテ二門トシ又之ヲ三大トス此一心トハ吾人各自ノ有スル
一心ニアラスト万有ヲ總括シタル真如其者ヲ一心トス故ニ一心ハ絶對ノ一心ニ
シテ華嚴ノ所謂三界唯一心トハ即チ是ナリ今此世界ヲ一括シテ觀察スルニ一方
ニハ生滅ノ現象ヲ示シ又一方ニハ不生滅ノ道理ヲ存ス而シテ此二表裏ヲナスモ
ノニシテ之ヲ名ケテ生滅門真如門ト曰フ此二門ハ一心ヨリ出テタルモノナリ又
之ヲ分ケテ躰相用ノ三大トス躰トハ實躰ニシテ不生不滅平等ヲ云ヒ相トハ躰ヨ
リ顯レテ一切万有ヲ爲ス性德(性質)ヲ有スルヲ云ヒ用トハ相顯ハレテ善ハ善ノ業
ヲ感スル作用ヲ爲スヲ云フ

生滅ハ下ニ於テ覺ト不覺トアリ其覺中ニ本覺ト始覺トアリ是レ起信論難問ノ生
スル點ナリ凡ソ吾人ハ今日迷フト雖モ迷ノ本原ヲ尋ヌルニ真如ヨリ顯レタルモ
ノナレハ本來迷ナルモノアルヘキ理ナシ故ニ一タヒ迷フモ後ニ必ス覺ニ至ルヲ
得ヘシ此迷ウテ後チ覺ルヲ始覺ト云ヒ此始覺ニ對シテ本來ノ覺躰ヲ本覺ト云フ
即チ始覺ニヨリテ本覺アリ本覺ニヨリテ始覺アリ本覺アルカ爲ニ縱令一タヒ迷
フト雖モ復覺ルヲ得始覺アルカ爲ニ本來覺性ヲ有スルヲ知ル然ラハ此ニ一疑問

アリ本來真如界中ニ在リテ迷ハサリシ者如何ニシテ生滅差別ノ迷ヲ生セシカ曰
ク真如ノ水ハ本來靜ナレトモ無明ノ風起リシ爲ニ妄念ノ波ヲ生セシナリ故ニ起
信論ニ曰ク忽然念起名爲無明ト然ラハ更ニ問ハシ波動ヲ起サシムル風ハ水ノ外
ニアリ忘念ノ波ヲ起ス無明ノ風ハ真如ノ外ニアリヤ曰ク否真如以內ニ無明ヲ生
ス然ラハ真如絶對ノ迷ナキ處ニ何故ニ迷ヲ生シ風波ヲ起スヤ又本來迷ナクシテ
迷ヒ復タ本ノ覺性ニ歸ルヲ得ハ始覺ノ佛トナリテモ尙ホ復タ迷ニ歸ルヲアルヘ

シ此ノ如ク隨テ解スレハ隨テ疑問ヲ生シ到底之ヲ氷釋スルヲ能ハス
蓋シ起信論ニ此難問アルハ起信論ハ開發上ニ説クモノナルヲ知ラサルヘカラ
ス開發上ニハ迷ノ前後ヲ生スルモ存立ノ上ニハ迷ノ始終ナシ開發上ニハ一ノ種
子ヨリ花實ヲ生スルカ如クニシテ花實ハ種子中ニ存セスト云ハサルヘカラス然
レトモ存立上ヨリ云ヘハ花實ハ既ニ一種子中ニ含有セラル、ヲ知ルヘシ起信ハ
開發上ヨリ論スルヲ以テ迷ノ前後ヲ考フルニ迷ナキ處ニ迷ヲ生シ迷アルモノ亦
無トナルガ如キ點アリテ解釋スルヲ至テ難シト雖モ之ヲ存立上ヨリ見レハ其理
ヲ明カニスルヲ得ヘシ開發モ存立モ共ニ一ノ見方ニシテ開發ノミノ上ニ見ルモ

存立一方ニ於テ考アルモ共ニ誤ナリ二見相合シテ始メテ一事物ノ正鵠ヲ見ルヲ得ヘシ從來ノ學者ハ單ニ開發一邊ニ起信ヲ論スルヲ以テ之カ解釋ヲ誤リタルナリ故ニ開發ヲ解スルニハ存立ヲ以テシ存立ヲ解スルニハ開發ヲ以テシ起信ヲ解スルニ天台ヲ以テシ天台ヲ解スルニ起信ヲ以テセハ始メテ其理ノ炳然タルヲ見ルベシ

又起信モ天台モ共ニ道理一面ノ見方ニシテ其裏面ニハ道理以外ノ見方アリ迷アレハ覺アリ覺アレハ迷アリト云フハ因果ノ理法ニ本クモノナレド道理ノ裏面ニアル道理以外即チ絶對平等ノ點ニ達セハ因果道理ノ沙汰ニアラス吾人ハ世界ノ事物ヲ悉ク知り得ヘキモノニアラス尙ホ吾人ノ道理以外ニアル者多シトス此道理以外ノ點ヨリ此問題ヲ解スレハ太々容易ナリ然ルニ從來起信ヲ解スル者因果ノ尺度ヲ以テセントスルカ故ニ誤謬ノ論ニ陥リシナリ佛教ハ不可思議ノ本體ヲ立ツルヲ以テ一方ニハ道理ヲ本トスルモ其裏面ニハ不可思議ノ妙アリ此不可思議ニ對照シテ以テ此問題ヲ解セサルヘカラス

凡ソ眞如ト方法トノ關係ハ最モ至難ノ問題ニシテ實際ノ境遇ハ佛ニ非レハ知ル

ヲ得ス故ニ起信論ニハ此關係ヲ陳ヘテ是心從本已來自性清淨而有無明爲無明所染有其染心雖有染心常恒不變是故此義唯佛能知ト云ヘリ今此關係ヲ略述センニ先ツ始ニ眞如アリ次ニ方法即チ生滅ヲ顯ハス而シテ終ニ方法ヨリ再ヒ眞如ニ歸ス眞如ヨリ方法ニ移ルハ迷門ニシテ方法ヨリ眞如ニ歸ルハ悟門ナリ吾人ハ現在方法差別ノ境界ニ在リト雖モ後ニハ眞如ニ復歸スルヲアリ然ラハ方法中ニ眞如アリヤナシヤト云フニ若シ方法ニ眞如ナクハ方法ヲ變シテ眞如トナスヲ得ズ既ニ吾人ノ眞如ニ歸ルヲ得ハ方法中ニ眞如アリト云ハサルヘカラス或ハ方法ノ裏面ニ眞如存スト云ハサルヘカラス是ニ於テ本覺始覺ノ差別ヲ生ス方法ヨリ眞如ニ歸ルハ始覺ナリ既ニ始覺アリトセハ之ニ對スル本覺ナカルヘカラス本覺アリテコソ始覺ヲ得ルナレ此ニ由テ之ヲ觀レハ迷即チ生滅ハ本ナクシテ又末モナキモノニ非スヤ是レ此ニ生スル一問題ナリ

凡ソ事物ヲ觀察スルニハ二様ノ方法アルヲ知ラサルヘカラス二様ノ方法トハ一ハ堅ヨリ見ルト一ハ横ヨリ見ルトナリ堅ヨリ觀察スルハ玆ニ一ノ海アリ其海水ハ何ヨリ來リシカ百川ノ流レ集レルナリ其河水ハ何ヨリ來リシカ山谷ニアル

泉ヨリ生セルナリ其泉水ハ何ヨリ來リシカ天ヨリ降ル雨ヨリ生ス然ラハ其雨ノ

(六四)



原因ハ如何往古ハ其理ヲ知ラスシテ或ハ天ニ池アリ或ハ神ノ爲ス所ナリト想像
 セリ是レ堅一方ヨリ觀察スルヲ以テ解釋スルヲ能ハサルナリ若シ之ヲ循環ノ理
 ヲ以テ解釋セハ甚タ容易ナルヲナリ即チ雨ノ原因ハ却テ下ニアリ之ヲ一直線ニ
 考ヘ雨ハ天池ヨリ降ルトセハ遂ニ雨ノ盡クルヲアルヘシ然ルニ
 之ヲ元ニ還シ雨ノ原因海ニアルヲ知ラハ水ハ循環シテ盡クルヲ
 ナシ是レ即チ横ニ觀察シタルモノニシテ是ニ於テ無始無終ノ理
 ヲ生ス更ニ一例ヲ舉フニ茲ニ一樹アリ其樹ハ前事ノ種ヨリ生ス其種ハ實ヨリ生
 シ實ハ花ヨリ生シ花ハ枝ヨリ生シ枝ハ幹ヨリ生シ幹ハ種ヨリ生ス而シテ其種ハ
 前年ノ實ヨリ出ツ此ノ如ク循環スルハ環線ノ上ニ見タルナリ若シ之ヲ一直線ニ
 考フレハ其理ヲ發見スルヲ得ス耶蘇教ハ一直線ニ考フルモノニシテ人ハ父母ア
 リテ生シ其父母ハ又其父母ヨリ生シ乃至其始ハ神ヨリ生ストス是レ雨ノ原因ヲ
 以テ神トスルニ異ナラス若シ無始無終循環スル所以ヲ知ラハ殊更ニ神ヲ捏造ス

ルノ要ナシ佛教ハ世界ヲ説クニ成住壞空ノ四劫循環シテ止マサル所以ヲ以テス
 故ニ世界ノ前ニモ世界アリ世界ノ後ニモ世界アリテ世界ハ無始無終不生不滅ナ
 リトス

第一圖 眞如 生滅 眞如

眞如ニシテ之ヨリ生滅ヲ生シ後ニマタ眞如ニ歸ス之ヲ三段ニ分テハ第一圖ノ如
 シ此ニ由テ觀ルトキハ前後眞如ノ間ニアル生滅ノ始終明ナラズ是レ蓋シ一直線
 ニ觀察スルヲ以テナリ然レトモ生滅ノ中ニハ眞如ナキカト云フニ生滅轉シテ眞
 如トナルヲ得ハ生滅中ニ眞如ナカルヘカラス然ラハ此生滅ハ表面生滅ナルモ裏
 面ニハ眞如ヲ具スルナリ而シテ前ノ眞如モ眞如ノミナリヤト云フニ眞如ヨリ生
 滅ヲ生ストセハ此眞如ニモ其裏面ニ生滅存セサルヘカラス既ニ前ノ眞如ニシテ
 ラハ後ノ眞如ニモ亦生滅存スト云ハサルヘカラス即チ第二圖ノ如シ此ニ由テ之
 ヲ觀レハ眞如モ生滅モ共ニ無始無終ナリ而シテ表面上ニハ眞如生滅眞如ト次第

(六五)

第二圖

真如	生滅
生滅	真如
真如	生滅
生滅	真如

表面

第三圖

真如	生滅
生滅	真如
真如	生滅
生滅	真如

裏面

スルモ真如ノ裏面ニ生滅アリ生滅ノ裏面ニ真如アリトセハ之ヲ合スレハ第三圖ノ如クナルヘシ然ラハ迷悟生真共ニ無始無終ト云ハサルヘカラス單ニ之ヲ起信論ヨリ説キ一直線ニ論スルハ到底其理ヲ解釋スルヲ能ハス然ルニ尙ホ一步ヲ進メ迷悟本來存ストスル天台ノ説ヨリ論究スルハ此理ヲ解釋スルヲ得ヘシ於是天台ニハ修惡性惡ノ説アリ若シ更ニ進テ之ヲ論スレハ真如アルノミニテ其所謂生滅ハ全クナシ何者元來生滅ナル者ハ有始有終ノ上ニ於テコソ云ヘ若シ生滅ニシテ無始無終ナランカ是既ニ生滅ニアラス是ニ於テ生滅ハ真如ノ中ニ入りテ唯一ノ真如トナル即チ第四圖ノ如シ然ラハ唯一真如ニシテ何故ニ生滅ヲ生ス

第四圖

真如	真如
真如	真如
真如	真如
真如	真如

ルカト云フニ起信論ノ説ニツイテ之ヲ例セハ茲ニ一ノ樹木アリ元ト一粒ノ種子ヨリ發生シ許多ノ枝ヲ分出シ且ツ花ヲ開ク之ヲ一直線ニ觀察シ前後ノ差別ヲ附

スルトキハ種子中ニ枝モナク花モナシト云ハザルベカラズ枝モナキ花モナキ種子中ヨリ枝ヲ生シ花ヲ開ク所以ハ解釋スルヲ得ズ吾人ハ真如ニ入りテ觀察スルニ其中ニハ生滅ノ花モナク差別ノ枝モナシ然ルニ本來真如中ニナキ生滅ノ何故ニ今日ニ存スルヤ起信論ヨリ論スルハ之ヲ説明スル能ハス若シ之ヲ天台本具ノ説ヨリ觀レハ真如ノ種子中既ニ生滅ノ花ヲ含有セリ吾人ハ之ヲ表面上目撃スルヲ得サルモ其部内ニハ之ヲ含有ス之ヲ含有スレハコソ此ニ生滅ノ花ヲ開クナレ然ラハ種モ花ニシテ真如モ生滅ナリヤト云フニ生滅ヲ主トシテ云ハハ生滅中ニ真如アリ真如ニ迷アリト云フモ可ナラン然レトモ真如中ニハ生滅ナクシテ而モ生滅アリ生滅アリテ而モ生滅ナシ之ヲ例セハ此ニ一ノ環アリ環ニハ始終ノ差別ナクシテ差別アリ環トシテ見ルトキハ前後始終ノ差別ナキモ吾人ノ之ヲ畫カントスルトキニハ何レカ一點ニ筆ヲ起ササルヘカラス是ニ於テ差別アリ真如ハ本來絶對無差別ナレトモ吾人ノ之ニ觸ル、トキハ相對差別ヲ生ス環其者ニハ差別ナキモ其中ニ始終ヲ起スヘキ理ヲ存スルカ如ク真如其者ニハ本ヨリ生滅ノ存スルナシト雖モ生滅ヲ生スヘキ道理ヲ存スルナリ此點ヨリ見レハ真如ニ差別ア

(六八)

リト云フヲ得ヘシ更ニ一例ヲ舉グレハ吾人若シ地球上ノ一點ニ立ツ時ハ此ニ東西南北ノ差別アリ然レトモ東西南北果シテ存スルカヲ探究スルニ廣漠無限ノ宇宙間更ニ其差別アルヲ見ス即チ差別ナキ宇宙ノ中ニシテ尙ホ東西南北ノ差別アリ之ト同シク眞如ノ上ニハ生滅ノ差別ナキモ方法ノ上ニハ差別アリ吾人ハ今日地球上ニ棲息スルモ若シ心ヲ放テ遠ク宇宙全軀ノ上ニ觀察セハ其中ニ東西南北ノ差別ナキヲ知ルヘシ吾人若シ眞如其者ノ本軀ニ躰達セハ又其中ニ方法生滅ノ存スルナキヲ覺ルヘシ要スルニ一部分ニ止レハ差別アリ全軀ニ立タハ平等ナリ故ニ吾人ハ差別ナキ眞如ノ中ニアリテ差別ヲ見ルモノナリ以上ハ起信天台ノ兩說ヲ結合シテ説明シタルモノナリ古來之ヲ解釋スルニ苦シミシハ要スルニ起信一方ノ見解ヲ以テシタルカ故ナリ此眞如方法ノ關係論ハ實ニ至難ノ問題ニシテ實ニ佛教上ノミナラス一切諸學ノ關係スル大問題ナリ若シ此道理ノ愈々明瞭ナルニ至ラハ一切哲學上ノ疑問ハ立チトコロニ冰解スルヲ得ベシ

以上陳述セシ所ハ眞如方法關係ノ一部分ノ解釋ニシテ吾人ノ道理上ヨリ探究スレハ此ニ至ルナリ然レトモ是ノミニシテ眞如方法關係ノ盡キタルニアラス若シ

是ノミニテ其道理ノ盡キタリトセハ眞如ハ吾人ノ智識ノ範圍内ニ在リト云ハサルヘカラス吾人ハ尙ホ進ミテ之ヲ探究セントスルニ遂ニハ知ルヘカラスル境界ニ達ス然レトモ全ク知レサルニ非ス知リ得サル間ニ又多少知ルヲ得ルナリ

茲ニ眞如ト心トアリ此吾人ノ心ニ於テハ眞如全軀ヲ知了スルヲ能ハス何トナレハ吾人ノ心ハ眞如ノ一部分ナレハナリ若シ心ニテ眞如全軀ヲ知ルヲ得ハ眞如ハ吾人ノ心中ニ在リト云ハサルヘカラス然ラハ眞如ハ到底知ルヲ得サルカ曰ク否多少知ルヲ得ヘシ何トナレハ吾人ノ心ハ眞如ノ一部分ナレハナリ耶蘇教ノ如ク吾人ヲ離レテ神アリトセハ吾人ハ神ヲ知リ得ヘキ理ナキモ眞如ト心トハ連絡スルヲ以テ之ヲ知ルヲ得ヘシ其連絡スル點ハ即チ心ニ智情意ノ三アリ此三ハ其表面有限ナレト裏面ハ無限ナリ而シテ方法ハ有限ニシテ眞如ハ無限ナリ故ニ智情意方法ニ向ヘハ有限ニシテ眞如ニ向ヘハ無限ナリ智力上ニ於テ吾人ハ常ニ有限相對ヲ考フレトモ時アリテ眞如絕對ヲ推究セントシ情感上ニ於テモ常ニ有限ヲ感スルモ或時ハ無限ヲ感知スルコアリ又意志ニ於テモ然リ是レ吾人ノ心ハ有限性ノミナラスシテ裏面ニ無限性ノ連絡アルヲ以テナリ故ニ吾人ハ多少眞如ヲ知

ルヲ得然レトモ今日ハ肉體ニ制抑セラレテ其全體ヲ認識スルヲ得ズ是ニ於テ眞如ノ上ニ可知的ト不可知的トノ二部分アリ智情意ヲ有限性ヨリ云ヘハ不可知的ニシテ無限性ヨリ云ヘハ可知的ナリ即チ吾人ハ眞如ニ對シテ不可知ノ間ニ可知的アリ可知ノ間ニ不可知アリ然ルニ今此ノ起信論ハ可知ノ邊ニ於テ論スルモノナリ若シ夫レ不可知ノ邊ヨリ云ハ、唯佛獨リ之ヲ領知スト謂フヘシ

又眞如ノ方法ノ關係ハ因果ノ理法ニ據リテ説クモノニシテ眞如ヨリ方法ヲ生シ再ヒ眞如ニ歸スト云フモ因果ノ理ニシテ二者不生不滅ト云フモ因果ノ理ナリ然レトモ因果ノ上ニ論スルハ眞如ノ可知的ノ部分ニシテ不可知的ヨリ云ハ、因果以外ナリ若シ不可知的ヲ説クニ因果ノ理法ヲ以テセハ是レ不可知的ニアラス然ルニ從來可知の一方ヨリ眞如ヲ説明セントスルヲ以テ誤謬ヲ生スルナリ眞如ヲ論スルニハ可知不可知ノ二様ノ見解アルヲ忘ルヘカラス

上來陳述セシ所ヲ西洋哲學ニ配當センニ俱舍宗ハ物心二元論ナレハ之ヲ二元論ト云フ點ヨリ較スレハ佛國ノデカイト蘇國ノリード之ニ類ス法相宗ハ唯心論ナレハ英國ノバークレーニ近ク又多少スピノザニ似タル所アリ又カントニ同シキ

所アリ三論宗ハ消極的ノ邊ヨリ見レハヒュームニ類ス然レトモ其説ハ寧ロフイヒテニ近シト云フベシ起信論ハフイヒテノ唯心論ニ似又セーリングクノ説ニ似タリ而シテ天台宗ハワীগルニ近シ然レトモ此等皆假リニ配當セシニ過キス其性質ハ決シテ同日ノ論ニアラサルナリ

天台宗

先ツ初メニ天台宗ノ分類ヲ掲クヘシ即チ左ノ如シ



有空中三宗ノ中、中道宗ニハ實大乘ノ天台華嚴、眞言ノ三宗アリ先ツ天台宗ヨリ講
 スヘシ此宗ニハ教觀二門ヲ立テ教門ハ哲學ニ屬シ觀門ハ宗教ニ屬ス今其宗教ニ
 屬スル部分ハ省略スヘシ教門ニ於テハ一代佛教ヲ判釋スルニ五時八教ヲ以テス
 即チ前表ノ如シ五時トハ華嚴、阿含、方等、般若、法華涅槃ナリ八教トハ化法ノ四教、化
 儀ノ四教ニシテ化法ノ四教トハ藏通別圓ナリ藏教ハ界内ノ事教通教ハ界内ノ理
 教別教ハ界外ノ事教圓教ハ界外ノ理教ナリ(界トハ三界ヲ云フ)又藏教ハ小乘教ニ
 シテ通別圓ノ三教ハ大乘ナリ其中通教ハ聲聞緣覺菩薩ニ通シ或ハ前ノ藏教ニモ
 彼ノ別圓ニモ通スルヲ以テ其名アリ別教ハ之ニ反シテ前後ニ通セサルヲ以テ此
 名アリ而シテ圓教ハ圓滿完全ナルヲ以テ名ク化儀ノ四教トハ頓漸秘密不定ナリ
 頓教ハ華嚴經ヲ指シ佛成道シテ直ニ佛自己ノ大悟セシ道理ヲ説キタルナリ然レ
 凡聽者ノ智識之ヲ解スル能ハサルヲ以テ漸次ニ小乘ノ淺近ヨリ大乘深遠ノ法ニ
 及ホシタリ之ヲ漸教トス秘密不定ノ二教トハ秘密不安ト顯露不定トナリ同一ノ
 佛説モ大ヲ聞テ小ヲ悟ルアリ小ヲ聞テ大ヲ得ルアリ之ヲ不定ト云フ而シテ之ニ
 秘密ニシテ自己ノ不知不識ニ得ルト知りテ悟ルトアリ故ニ一ヲ秘密ト云ヒ一ヲ

顯露ト云フ此五時八教ニ就キテハ四教儀西谷名目等ノ書廣ク世ニ行ハル、ヲ以
 テ其書ヲ參考スヘシ
 余ノ是レヨリ述ヘントスルハ天台宗ノ原理タル一心三觀一念三千ト云フナリ、
 今之ヲ領會ニ便セン爲メ數學的形式ヲ以テ示スベシ

一、心、三、觀、ノ、形、式

佛十論十廿 || 三觀(總) || 三觀(總) || 一、心

三諦トハ空諦假諦中諦ニシテ吾人ノ感覺ニ對スル境ナリ之ヲ觀スル方ヨリ云ハ
 ハ三觀ナリ故ニ之ヲ智ト云フ即チ客觀上ニハ三諦ト云ヒ主觀上ニハ三觀ト云フ
 空トハ一切皆空ニシテ本來事物ノ實在セザルヲ云フ假トハ本來實有ニアラサレ
 トモ緣ニ隨ヒテ諸豪歷然トシテ現スルヲ云フ然ルニ此空タルヤ空一邊ニアラズ
 シテ假ヲ含ミ假モ假一方ニアラズシテ空ヲ含ム空即假、假即空ニシテ同躰不二ナ
 リ故ニ中ト云フ然レトモ中亦空假ヲ離レテ別ニアルニアラス空モ中、假モ中ニシ
 テ三諦圓融スルモノナリ此三諦ノ理我一心ニアリト觀スル之ヲ三觀ト云フ故ニ
 之ヲ一心ト云フ

次ニ一念三千トハ是亦數學的形式ヲ以テ顯セハ左ノ如シ

(七四)

十界トハ地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上、聲聞、緣覺、菩薩、佛ナリ其中前ノ六界ヲ六凡ト稱シテ迷界ナリ後ノ四界ヲ四聖ト稱シテ悟界ナリ十如トハ相、性、躰、力、作、因、緣、果、報、本末究竟ノ十如是ナリ而シテ三世間トハ五蘊衆生、國土ノ三ヲ云フ今十界ニ十界ヲ乘スレハ百界ナリ百界ニ十如ヲ乘スレハ千ナリ千ニ三世間ヲ乘スレハ三千ナリ而シテ此三千ハ一念ノ中ニアリ若シ一念動カサレハ止ム尙モ一念動クアレハ十界三千悉ク其中ニ具ス之ヲ一念三千ト云フ而シテ此三千ノ躰ハ本來眞如平等ノ理ヨリ顯ハレタルモノナレハ之ヲ理具ノ三千ト云ヒ又平等ノ理ヨリ差別事界ヲ顯ハスヲ以テ又之ヲ事造ノ三千ト云フ

俱舍宗ハ方有テ分析シテ差別事界ノ躰ヲ七十五法トシ未タ理界ノ存在ヲ認メザリシカ法相宗ハ差別界以外ニ眞如ノ理界ヲ發見セリ然レトモ尙ホ事理兩界隔歷

スルヲ以テ三論宗ハ總テ差別界ヲ空シ理界一邊ヲ見ル然ルニ天台宗ニ至レハ復差別界ノ存在ヲ許ス然レトモ俱舍宗ノ事界ト異ナリテ理界ノ上ニ差別ノ事界ノ存スルナリ即チ天台宗ノ眞如理性中ニ一切萬有ヲ現シタルハ俱舍ノ差別ヲ理界上ニ移シタルモノナリ故ニ天台ハ佛教中最モ高尙ノ點ニ達シタルモノト云フヘシ然ルニ昇リテ山頂ニ達スレハ是レヨリ又降ルカ如ク理ノ最上タル天台ニ達スレハ更ニ歩ヲ轉シテ裏面ニ向ヒテ下ルヘシ是華嚴眞言ノ二宗ナリサレハ前ノ起信論ニ於テ眞如ヨリ萬法ヲ生スト云フハ天台ヨリ云ヘハ是レ本具ニシテ眞如其者ノ本性ノ上ニ萬法生滅ヲ具ス故ニ眞如即生滅、悟即迷ナリ此ニ至レハ眞如ハ本來湛然トシテ存シ生滅ノ差別ナシト雖モ吾人相對ノ上ヨリ見ルトキハ差別ノ現象ヲ示ス恰モ渺茫タル宇宙ニ四方上下ノ別ナキモ其ノ一點ニ止ルトキ差別ヲ生スル如ク無限廣大ノ眞如中ノ或一點ニ足ヲ止ムルトキ差別ヲ生スルナリ故ニ吾人ハ若シ一部分ノ觀念ヲ捨テ心ヲ放チ眞如ニ合躰スレハ一部分ニ於タル忘念ノ差別ナキヲ知ルヘシ

眞如ヲ論スルニ當テ表面ノ可知的ヨリ論スル者ハ天台宗ナリ其裏面ノ不可知的

(七五)

ヲ立ツルモノハ淨土門ナリ淨土門ニ於テハ眞如ノ本體ハ入智ノ得ヲ窺ヒ知ルベ
キモノニアラス因テ信仰ヲ以テ不可思議ヲ感スルノ外ナシトシ遂ニ信仰一邊ヲ
取ルニ至ル故ニ淨土門ハ智力的ニアラス情感的ナリ是レ蓋シ天台ノ裏面ヲ開キ
示シタル者ナリ
而シテ眞如ノ可知ト不可知トノ間ニ妙ト云フ者アリ元來佛教ハ眞如ヲ目的トシ
四方ヨリ進ンテ之ヲ捕捉セントス然ルニ之ヲ可知ヨリ探レハ遂ニ不可知ニ達ス
於是妙アリ又不可知ヨリ進メハ其間自然ニ可知アルヲ知ル亦之ヲ妙ト云フ即チ
何レノ方面ヨリ進ムモ妙ニ達ス天台ハ之ヲ智ノ上ニ探リテ妙アリ淨土門ハ之ヲ
情ノ上ニ信シテ妙アリ

華嚴宗

小乘教一

五教

大乘教四

非圓教三

頓教

終教

圓教

始教

相始教

空始教

佛教ノ理論ハ天台宗ニ至リテ其極點ニ達シタルモノナリ而シテ此天台ト天台以
前ノ説トヲ結合シ一層高尚ノ説ヲ唱フルモノハ華嚴眞言ノ二宗ナリ華嚴宗ノ依
ル所ノ本經ハ華嚴經ニシテ此經ハ釋尊成道シテ最初ニ説カレシ經ナリ此宗ニ於
テハ華嚴經ヲ以テ佛一代ノ最モ廣大高尚深遠ノ經トス何トナレハ釋尊永年ノ苦
行一旦轉然トシテ眞理ヲ發見シ成道シ玉フヤ直ニ釋尊自ラ大悟セシ眞理ヲ開顯
シ之ヲ説キテ以テ自ラ樂シミ玉ヒタル經ナレハナリ之ヲ海印定中同時炳現ト云
フ此ヨリ後ハ釋尊ノ大悟シ玉ヘル儘ヲ説クモ領會スル者少キカ故ニ漸ヲ以テ
進ミ淺ヨリ深ニ低ヨリ高ニ説キ及ホシ玉ヘリト乃チ此宗ハ五教十宗ヲ以テ一代
經ヲ判釋ス五教トハ小始終頓圓ノ五教ナリ其中相始教ハ唯識ノ上ニ万有開發ヲ
談スル法相宗ヲ指シ空始教ハ理一邊ニ偏シテ説ク所ノ三論宗ヲ指ス此二教ハ權
大乘ナリ終教ハ始教ヨリ勝ル、者ニシテ華嚴ヨリ云ヘハ起信天台ノ教之ニ屬ス

十宗

小乘教六

我法俱有宗

法有我無宗

法無去來宗

現通假實宗

俗妄眞實宗

讀法俱名宗

大乘教四

一切皆空宗(始教)

眞德不空宗(終教)

頓教ハ頓速頓入ノ教ニシテ直ニ真如ノ理ヲ證見スルモノ禪宗ノ如キ之ニ屬ス而シテ圓教ハ即チ華嚴宗ニシテ是レ佛教中最上ノ法ナリトス

此宗ニハ十玄六相ト云フヲ説ク之ヲ説明センニハ僅少ノ時間ニ爲シ得ヘカラサルコトナレハ茲ニハ之ヲ省略スルモ畢竟此原理タル華嚴ノ無盡緣起ヲ證明スルモノナリ法相宗ニ於テハ賴耶緣起ヲ唱ヘ阿賴耶識ノ躰ヨリ諸法ノ生起スル所以ヲ説キ天台宗ハ實相論ヲ唱ヘ事物其者ヲ理ノ上ニ論シ真如即方法方法即真如ト談ス法相ノ緣起説ハ差別ニシテ天台ノ實相論ハ平等ナリ此二論ヲ結合シ平等融通ノ上ニ緣起開發ヲ説キタルモノハ華嚴宗ノ無盡緣起説ナリ故ニ此宗ハ緣起開發論ノ最上ニ達シタルモノト謂フヘシ之ヲ證明スルカ即チ十玄六相ノ法門ナリ之ニ就キテ此宗ニ四法界ト云フヲ談ス四法界トハ、事法界、理法界、理事無礙法界、事々無礙法界ナリ第一ノ事法界ハ差別事界ノ上即チ吾人目前ノ世界ノ山川草木歷然トシテ個々成立スルヲ云ヒ第二ノ理法界ハ平等一邊ノ理ノ上ヲ云ヒ第三ノ理事無礙法界ハ事理互ニ結合シテ其間ニ障礙スルモノナク融通無礙ノ有様ヲ云フ天台ハ即チ此説ニシテ平等ノ水ニ差別ノ波アルヲ説キ水即波波即水トス而シ

テ第四ノ事々無礙法界ハ正シク華嚴ノ唱フル所ニシテ天台ニ於テ既ニ事理ノ關係ヲ論シ盡シタルヲ以テ更ニ歸シテ事界ニ出テ事々ノ融通ヲ談スルナリ天台ニ於テハ事理ノ無礙融通ヲ説クモ未タ事々ノ融通ヲ説カス華嚴ノ之レヲ説ク所以ハ天台ト法相トヲ結合シタルヲ以テナリ此四法界ヲ宗旨ニ配セハ第一事法界ニハ小乘教ト相始教トノ二教之ニ屬ス小乘俱舍宗ハ世界ニ七十五ノ躰アリトシテ事界上ニ止リ又相始教即チ法相宗ハ小乘ニ比スレハ平等上ニ説クモノナレトモ真ノ平等ニアラス事界上ニ百法ヲ分チ真如ハ此中ノ一部分トシテ説クカ故ニ未タ事理融通セルモノト云フヘカラス故ニ法相モ事法界ニ屬ス第二理法界ニハ空始教即三論宗之ニ屬ス三論ハ一切ノ有ヲ空シ理一邊ニ止ルヲ以テナリ頓教即チ禪宗ノ如キハ本來無一物ノ境ニ達スルヲ以テ亦此中ニ屬スト云フモ可ナリ第三理事無礙法界ハ終教即チ天台宗之ニ屬シ第四事々無礙法界ハ圓教即チ華嚴宗ナリ天台宗ニ於テモ圓教ヲ説クトモ天台ニハ奪ヒテ云ヘハ天台一宗ニ限リ與ヘテ云ヘハ他教ニモ通スト然ルニ華嚴ノ所謂圓教ハ華嚴一宗ニ限リテ云フナリ要スルニ華嚴ノ所論ハ之ヲ名ケテ主伴具足ト云ヒ或ハ一多相即ト云ヒ又果地融

通果海融通ト稱ス即チ一切方法ノ中ニ於テ一物ヲ取レハ他ノ諸物之ニ隨伴シテ起ル故ニ主伴具足ト云ヒ一物ヲ取レハ多物之ニ即スル故ニ一即多多即一ナリ之ヲ一多相即ト云フ之レヲ説クハ無盡緣起ナリ畢竟華嚴ノ無盡緣起ヲ説クハ果地ノ上ニ談スル所以ニシテ釋尊成道シテ佛果滿德ノ上ニ大悟ノ真理ヲ示シ玉ヘルヲ怡モ海中ニ萬象同時炳現スルカ如キモノナレハ十重無盡高尙ノ法ナリトス之ヲ天台ニ比スルニ天台ハ因ノ上ニ於テ説キ華嚴ハ果ノ上ニ於テ説クノ別アリ故ニ一ハ因心本具説ト云ヒ一ハ果地融通説ト云フナリ

佛教ノ通理ヲ西洋哲學ニ比スルニ勿論双方同一ナルニハ非ス或點ニ於テハ全ク反對ノ説アリ然レトモ天台ニ至ル迄ハ多少比較スルヲ得タリシガ華嚴以上ニ至リテハ之ヲ比較スヘキ者ナシ故ニ華嚴以上ノ説ハ佛教ノ他ニ比類ナキ一種特別ノ點ト看做スモ可ナリ然レトモ此等ノ説タル其以前ノ順序ヲ追ヒ來ルトキハ必ス此ニ至ラサルヲ得ス今之ヲ今日ノ學理上ニ照スニ抑モ吾人ノ最モ容易ニ信シ得ヘキモノハ目前ノ世界ナリ此世界ハ苟モ目アリ耳アルモノハ其存在ヲ疑フヘカラズ而シテ此世界ハ山川草木人獸蟲魚等千差万別ニシテ其數無量無限測リ知

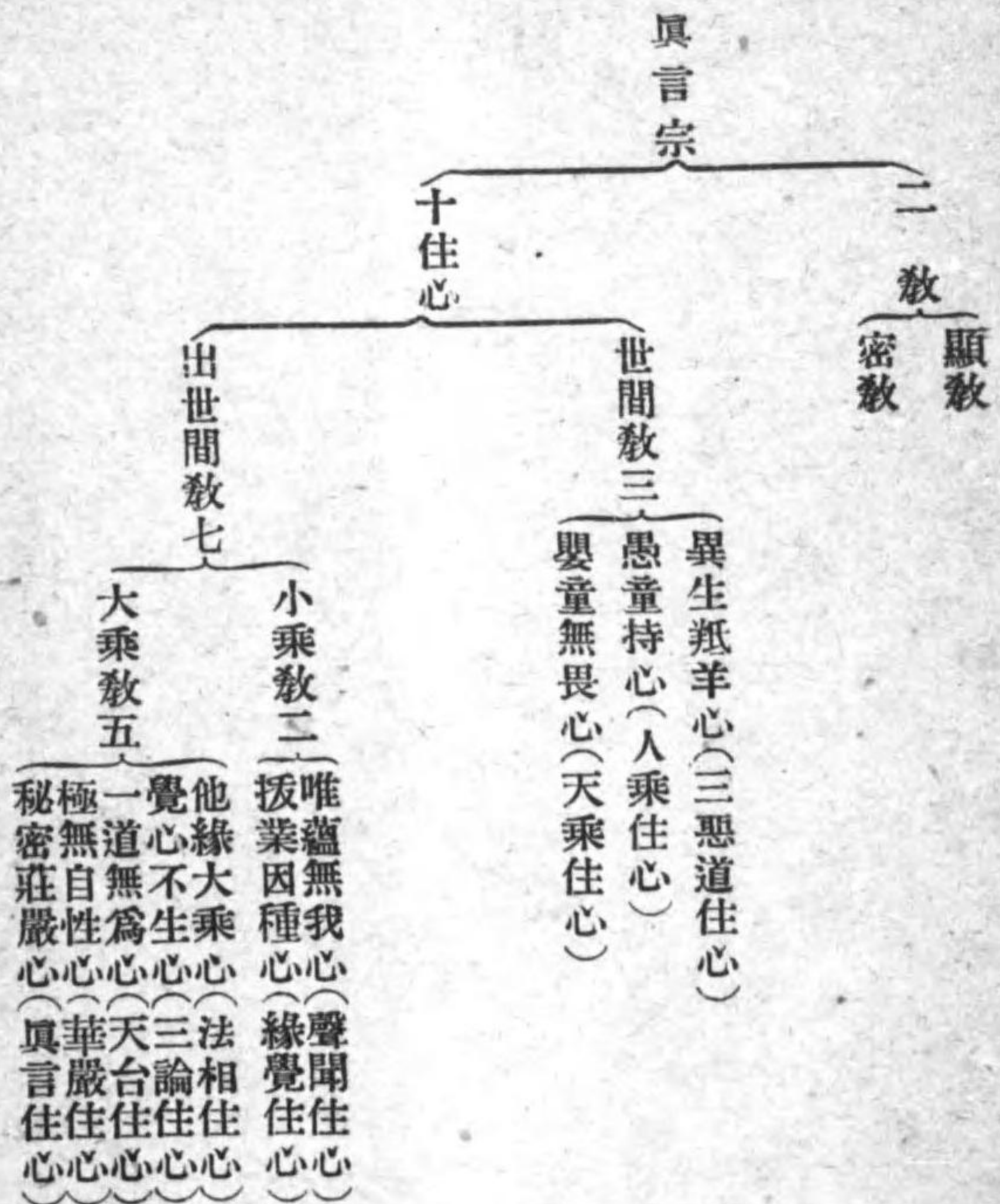
ルヘカラス其形モ亦千狀萬態ナリ之ヲ總稱シテ世界萬有ト云フ且此森羅萬象ハ盛衰アリ榮枯アリ春ニ花咲キ秋ニ實結ヒ其變化ハ時々刻々一刹那ト雖モ止ムコトナク而モ無限永入ノ間尙ホ盡クルコトナシ然ラハ此世界ハ永久變化スルノミナリヤト云フニ一方ニハ變化アリテ又他ノ一方ニハ不變ノ理アリ蓋シ事物ノ變化スルニハ其裏面ニ變化セサルモノナカルヘカラス變化ハ是レ比較上ノ論ニシテ舟ノ動クヲ知ルハ周圍ニ動カサル處アレハナリ吾人ハ或點ニ於テ不變ノ理ヲ見ルカ故ニ此ニ變化アルヲ知ルナリ然レトモ其不變ト思フ者モ何ソ知ラン變化シツハアル者ナルコトヲ原野ニ生スル草木ノ變化スルヲ見ルハ原野ノ變化セサルヲ見レハナリ然レトモ其原野モ變化スル者ナリ原野ノ變化ヲ見ルハ又原野以外ニ不變ノ者ヲ認ムルヲ以テナリ即チ甲ノ變化ハ乙ノ不變ニ比シテ知リ乙ノ變化ハ丙ノ不變ニヨリテ知ルナリ然ラハ一切ノ事物悉ク變化スル中ニオノツカラ不變ノ者アリテ存セサルヘカラスナルヲ知ルヘシ是レ當ニ道理上然ルノミニアラス實際上ニモ亦不變ノ者ナカルヘカラス水ノ雲トナリ雨トナリ或ハ川トナリ海トナルモ化學上ヨリ觀察スレハ唯其形ヲ變化スレニ止リ一滴ノ水ハ更ニ變スルコトナ

シ又此世界ノ一旦破壊シテ空無トナルモ此世界全ク滅セシニアラス空トナレハ
 從テ復成就ス此ニ由テ之ヲ觀レハ表面ニハ變化アルモ其裏面ニハ不變ノ者アリ
 若シ此世界ニシテ愈々變化ノミノ者ナラシメハ理化學上ノ原則因果ノ規律モ成
 立スルヲ得ス何トナレハ此規則ハ不變ノ者ナルヲ既定シタレハナリ故ニ此世
 界全軀ヲ見レハ其裏面ニ不變化不生滅無始終ノ三性ヲ有スト云フヘシ蓋シ此三
 性タル歸スル所ハ一ニシテ變化スルヲナクハ生滅ノアルヘキ理ナク生滅ナクハ
 始終ノアルヘキ理ナクハナリ是ニ於テ吾人ノ見ヲ以テ變化アリトスルモノ之
 ナ現象ト云ヒ不變化ノ者ヲ稱シテ本軀ト云フ此現象本軀ヲ論スルハ第一ノ問題
 ニシテ既ニ現象本軀アリトスレハ此二者ノ關係如何ト云フハ第二ノ問題ナリ此
 關係ニ就テ或ハ二者分離スト云フ者アリ然レトモ此說ハ到底許スヘカラス既ニ
 不變ノ上ニ變化ノ成立シ變化中ニ不變ヲ發見スル以上ハ二者同一ノ者ト云ハサ
 ルヘカラス俱舍宗ニハ單ニ差別ヲ論スレトモ差別ハ現象ニシテ本軀ニアラス是
 ニ於テ進ンテ法相宗ノ說アリ然レトモ法相宗ニハ事理ノ間ニ懸隔アリテ所謂本
 軀現象ヲ兩立スル說ニ似タリ然ルニ天台宗ニ至リテ始メテ二者ヲ結合シ眞如即

方法方法即眞如ト説キ其關係ヲ不一不二ト云フ之ヲ一トスレハ現象本軀ノ區別
 アルヲ以テ不一ナリ之ヲ二トスレハ現象本軀互ニ相離スヘカラスナルヲ以テ不二
 ナリトスルナリ而シテ此關係ヨリ(一)方法即眞如(二)一法即眞如(三)一法即方法(四)一
 法即一法ト云フヲ推論スルヲ得ヘシ即チ此世界ノ所有現象ハ其本軀眞如ナレ
 ハ方法即眞如ト云フヲ得ヘシ既ニ現象ノ全軀眞如ナリトセハ方法中ノ一法又悉
 ク眞如ナラサルヘカラス天台ニ一色一香無非中道ト云フハ即チ是ナリ然ルニ万
 法中ノ一法皆眞如ナラハ一法亦即チ方法ト云ハサルヘカラス既ニ一法即方法ト
 云フヲ得ハ又一法即一法ト云フヲ得ヘシ又之ヲ反對ニ考フレハ眞如即方法眞如
 即一法方法即一法ナリ其故ハ方法ハ眞如ノ現象ニシテ眞如其者カ活動ノ力ヲ有
 シ眞如自發自動シテ以テ方法ヲ開顯シタルモノナレハ眞如即方法々々即眞如又
 方法中ノ一法即チ眞如ト云フヲ得ヘシ之ヲ理化學上ヨリ考フルニ物質アレハ勢
 カアリ勢力アレハ物質アリ物ヲ離レテ力ナク力ヲ離レテ物ナシ然ルニ今物ヨリ
 云ヘハ融通ノ作用ナキモ力ヨリ云ヘハ融通無礙ノ活動ヲ有ス之ヲ比較シテ考フ
 レハ物質ハ方法ニシテ勢力ハ眞如ナリ方法ヨリ云ヘハ一物個軀相隔歷シテ融通

ヲ説クヲ得サレトモ眞如ヨリ云ヘハ融通無碍ナリ而シテ方法ハ一時ノ迷見タルニ過キス其實ハ皆眞如ナリ故ニ身ヲ眞如界中ニ投シ翻テ方法ヲ下瞰セハ一法即一法ナリ一法即一法ナリ之ヲ稱シテ事々無礙法界ト云フサレハ華嚴宗ニ於テ一塵一毛中ニ三千大千世界ヲ攝ムト云フモ須彌納芥子芥子納須彌ト云フモ此理ナリ須彌芥子ヲ藏ムト云フハ大ニ小ヲ容ル、モノナレハ間ハスシテ明ナリ然レトモ芥子須彌ヲ藏ムト云フハ如何例之吾人ノ眼ハ天地宇宙ヨリ見ンハ天地ノ中ニアリ然レトモ此天地ハ吾人ノ眼中ニアリト云フヲ得ヘシ即チ眼容天地天地容眼ト云フニ同シ是レ畢竟方法ニ寄セテ考フルト眞如ニ寄セテ考フルトノ相異ナリ之ヲ吾人ノ心上ニ云フモ吾人ハ天地間ノ一小部分ナレトモ此廣大ナル天地亦吾人ノ心ニテ知ルヲ得ヘシ故ニ云フ三界唯一心ト即チ此謂ナリ要之本ト此方法世界ハ一大眞如世界ニシテ眞如界中ニ方法ノ現象ヲ呈示スルモノナリ故ニ之ヲ表面ヨリ見レハ方法中一物一個ノ現象ヲナスモ裏面ヨリ窺ヘハ眞如ハ方法ヲ包擁シテ方法悉ク眞如ノ中ニアリ

眞言宗



華嚴宗ヨリ一步進ミタルモノハ眞言宗ナリ此宗ノ唱フル所ニ依レハ華嚴天台等ノ諸教ハモト佛ノ衆生ニ對シテ説キタル教ニシテ既ニ衆生ニ對シテ説クトキハ其機根性質ニ適應シテ説カサルヲ得ス故ニ佛ノ眞意ハ顯スヲ能ハス佛ノ佛ニ對

シテ説キタル教コソ眞ノ佛教ナレト是ニ於テ此宗ハ顯密ノ二教ヲ立テ華天等ノ諸教ハ衆生ノ氣質ニ應シテ説キタルモノニシテ之ヲ顯教ト云フ即チ方便教ナリ之ニ反シテ眞言ハ衆生ノ機類ニ關セス佛自己ノ眷屬ニ對シテ秘密ノ理ヲ説キタルモノニシテ之ヲ密教ト云フ是即チ眞實教ナリト故ニ其本尊モ他宗ニ異ナリテ大日如來ヲ立ツ又此宗ニハ一代教ヲ判釋スルニ十住心ヲ説ク即チ前表ノ如シ是蓋シ二教ト縱橫粗細ノ別アルノミ其中秘密莊嚴心ハ眞言宗ニシテ此宗ハ一代佛敎中ノ最上法ナリトス此一代教ノ判釋ハ何ノ宗旨ニモアリテ皆自己ノ宗旨ノ他ニ勝ル、トテ顯ハスナリ

此宗ニハ二界六大ト云フトテ説ク二界トハ金剛界胎藏界ナリ金剛界ハ智ヲ顯ハシ胎藏界ハ理ヲ顯ハス金剛ハ極メテ堅牢ナルモノナレハ之ヲ我心ニ堅固ノ力ヲ有シ以テ一切ノ迷妄ヲ打破シ眞理ヲ開顯スルニ喩フ又胎藏トハ母腹ニ子ヲ胎スル如ク理ノ中ニハ一切ノ事物ヲ含有スルニ喩フ六大トハ地水火風空識ニシテ之ヲ色心ニ分テハ地水火風空ハ色ニシテ識ハ心ナリ之ヲ二界ニ配スレハ色ハ理ニシテ心ハ智ナリ

此宗ハ華嚴天台ニ異ナリテ理ヲ本トセス事即チ六大ヲ以テ本トシ事相差別ノ上ニ理界ヲ談ス而シテ地水火風空ノ五大ト識大トハ不一不二ニシテ五大ヲ離レテ識大ヲ識大ヲ離レテ五大ナシトシ又金剛界ヲ離レテ胎藏界ナク胎藏界ヲ離レテ金剛界ナシトス即チ色心不二金胎一致理智冥合ヲ立テ此理ヲ以テ即身成佛ヲ説ク抑モ吾人ノ身軀ハ六大ニ由リテ生スルモノニシテ獨リ吾人ノ身軀ノミナラス大日モ衆生モ國土山川モ亦此六大ニ由リテ生スルモノナリ然ラハ此軀即チ佛トナルヲ得ヘシ故ニ人若シ語密身密意密即チ身口意三密ノ法ヲ修行セハ即身成佛スルヲ得ト云フハ此宗ノ所論ナリ

此宗ノ説モ亦以前ノ諸説ヲ論シ極ムルトキハ此點ニ達セサルヲ得ス華嚴宗ニ於テハ一切方法ノ一事一物ノ無礙融通ヲ論セシカ更ニ一步ヲ進メハ一切ノ事物皆六大ト云フヲ得ヘシ若シ裏面ヨリ論スルハ眞如ヲ本トセサルヘカラサルモ表面ヨリ云ヘハ必ス方法ヲ本トセサルヘカラズ是レ六大ノ説アル所以ナリ

又俱舍宗ニ於テ始メテ色心二元ヲ論シ之ヨリ進ミテ眞言ノ深奧秘密ナル道理ヲ説クニ至リシガ此點ニ至リテ前ノ俱舍宗ハ誤謬ナリト云ハ、是レ佛教自身ニ佛

教ノ誤レルヲ證明スルモノナリ既ニ俱舍宗ヲ基礎トシテ建築シタル論理ニシテ其基礎誤レリトセハ之ニ憑リテ建築シタル説モ亦破レサルヘカラス其基礎ノ正確ナルヲ認定シテコソ始メテ其道理ハ確實ナルヲ證スルナレ眞言宗ノ説ク所ノ色心二元ハ既ニ俱舍宗ノ説ク所ナシ若シ此點ニ至ラサレハ佛教未タ完全セサルモノナリ佛教ハ一ノ圓環ニシテ之ヲ一周シテ始メテ一圓環ナルヲ知ル其起點ハ何レヨリスルモ可ナレトモ先ツ最モ吾人ニ接近セル目前ノ世界ヨリ始メタルヲ以テ又本ノ目前ノ世界ニ歸ルナリ即チ俱舍宗ヨリ出テ、俱舍宗ニ歸リタル者ト云フヘシ例ヘハ茲ニ雪ニ埋沒セラレタル一樹アリ表面ヨリ之ヲ見ルニ七十五ノ枝雪外ニ突出シ七十五枝各獨立セルカ如シ(俱舍宗然ルニ其雪ヲ除キテ之ヲ見ルニ事理ノ二大枝アリ(法相宗)尙之ヲ穿鑿スルニ其根本ハ眞如ノ一木ナリ(天台等)而シテ更ニ土中ヲ穿チ見ルニ又許多ノ根アリ(眞言宗)眞言宗ハ表面ニ顯ハル、者ヲ顯教ナリト捨テ方便教ナリト排斥シ裏面ニ隱沒スル者ヲ眞實教ナリ密教ナリト唱フレトモ其雪外ニ顯ハル、枝ト土中ニ隱ル、根ト幾干ノ相異カアル其實眞言宗ハ俱舍宗ニ還リタルモノナリサレハ俱舍宗ノ所論決シテ誤謬ナルニアラス

唯其見方ノ淺近ニシテ七十五ノ獨立セル樹木アリト認メシノミ而シテ俱舍宗ノ誤謬ナラサル所以ハ眞言ノ證明ニヨリテ始メテ明瞭ナルヲ得タリ故ニ眞言ニ至リテ佛教ノ論理完結シタリト云フヘシ

眞如方法ノ關係ヲ説クニ當リテ顯教ハ眞如ノ理ヲ以テ方法ヲ説明シ密教ハ方法ヲ本トシテ眞如ヲ説ク然レトモ是レ表面ニハ右ヨリ進ミ裏面ニハ左ヨリ進ムモノニシテ同一ノ理ナリ蓋シ眞言宗ノ事ヲ先トシ理ヲ後トスルハ方法ノ裏面ニ眞如アリ眞如ノ裏面ニ方法アルヲ證スルナリ又之ヲ



一般ノ道理ニ照合シテ眞如ノ理ハ何ニヨリテ起リシカト云フニ吾人ノ心ト外界トノ關係ヨリ生セルナリ即チ俱舍宗ニ方法實有テ論シ是ヨリ眞如ヲ生シタルナリ然ラハ眞如ハ物心万境ノ根本ナルモ元ト物心万境ニツイテ想出シタルモノナレハ或ハ物心万境ハ眞如ノ根本ナリト云フモ可ナリ此根本ヲ捨テ、尙ホ眞如ノ跡アリトハ云フヘカラス又吾人直ニ佛果ヲ開クヲ得ハ此物心界中ノ身心即チ佛跡トナルナリ此等ノ道理ヲ推究スルハ事ヲ本トシテ理ヲ末トスルモ至當ノ論

ト云ハサルヲ得ス眞言宗ニ於テ此理ヲ説クニ至リシ爲メ佛教ノ起點ナル俱舍宗ノ眞理タルヲ知り始メテ論理ノ完結ヲ告ケタリ此ノ如ク佛教ノ發達ハ論理上ノ順序ニ從フモノナルヲハ余ノ考ヘ出シタル所ニシテ之ヲ西洋哲學ニ比較對照シテ研究セハ從來論理ノ關係ナキ者ト思ヒシ佛教ノ秩然論理思想ノ發達ニ伴ウテ進歩シタル者ナルヲ知ルヘシ

理論宗ノ結論

以上講述セシハ佛教ノ哲學ニ屬スル部分ナリ此部分ノミニテ佛教ノ成立スルニアラス之ヲ實際ニ應用シテ始メテ佛教ノ完成スルナリ然ラハ其應用ハ如何ト云フニ何レノ宗旨モ理論上ニ於テ此世界ニ不生不滅不變不化ノ本體アルヲ説ク此本體ハ即チ眞如涅槃ナリ然ルニ本體ノ存在ハ理論上然ルヘキモ果シテ之ニ達スルノ道アリヤト云フニ理論上ヨリ云ヘハ眞如開發シテ方法トナリシモノナレハ方法ヨリ進ミテ眞如ニ達スルヲ得ヘシ吾人ハ本ト眞如ニアリシモ或ル事情ニヨリテ方法中ニ出テタルモノナレハ此迷ヲ斷絶セハ眞如ニ歸ルヲ得ヘシ故ニ諸宗共ニ此迷ヲ斷滅スル修行ヲ爲スナリ又吾人ハ實際上此世界ニ於テ此理ヲ實究

スルモノナリ抑モ此世界ニハ草木アリ動物アリ人類アリ其中草木ハ生活力ヲ有スルモ感覺力ヲ有セス動物ハ感覺力ヲ有スレドモ思想力ヲ有セス人類ニ至テハ思想力ヲ有シ日常目撃セサルヲモ考ヘ得ルナリ又人類中ニアリテモ等差アリテ下等野蠻ノ人民ハ世界ノ不可思議ナル理ヲ考フル如キヲナシ然レトモ高等開明ノ人ハ精神上高尙ナル快樂ヲ學問或ハ智識ヨリ得或ハ天賦ノ觀或ハ地勢ヲ察シ以テ其中ニ不可思議ノ現象アルヲ知ル且ツ同一ノ人間ト雖モ盲目者ヨリハ盲目者多クノ快樂ヲ得同一ノ明目者モ知識ノ程度ニヨリテ異ナリ故ニ知識進メハ此世界モ尙樂シク美シク顯ハル、ナリ此道理ヲ當筈ムルニ吾人若シ他日進化シテ今日ニ十倍或ハ百倍スル境界ニ達セハ同一ノ世界ニシテ尙ホ數倍勝レタル美妙世界トモ見エ或ハ極樂眞如界トモ見ユルヲモアラン然ラハ修行ニヨリテ眞如界ニ達スルヲ得ヘキハ疑フヘカラス然レトモ之ニ達スルノ道諸宗其方向ヲ異ニスルヲ以テ總テ其修行ノ方法モ亦異ナルナリ唯其目的ハ不生不滅ノ境界ニアリ是レ佛教ノ西洋哲學ニ異ナル所以ニシテ佛教ハ單ニ道理ヲ研究スルノミナラス之ニ至ルノ方法ヲ講スルモノナリ故ニ佛教ハ唯道理上ノ講究ノミニ止ラハ佛

教ノ佛教タル真味ヲ感得スルヲ能ハサルベシ
眞如不生滅世界ノ存在ハ既ニ理論宗ノ證明ヲ以テ盡シタリ是ニ於テ乎實際上眞
如ニ達スルノ捷徑ヲ求メントスル者ノ起ラサルベカラサルハ必然ノ理ナリ是即
チ實際宗ノ起リシ所以ナリ故ニ實際宗ノ理論ハ理論宗ノ説ク所ニ外ナラス然レ
ドモ又多少哲學上ノ道理ヲ含ミ一種特殊ノ點アルヲ以テ以下之ヲ講スヘシ

實際宗

禪宗

實際宗ノ理論ハ理論宗ニ異ナルヲナシ唯之ヲ應用スルニ當テ理論ヲ主トスルト
實際ヲ主トスルトノ徑庭アルノミ理論宗ハ其理論高尙深遠ナレトモ實際上之ヲ
應用スルニハ稍迂遠ノ弊アルヲ免レス是ニ於テ成佛得道ノ捷徑便路ヲ説クモノ
ハ實際宗ナリ禪宗即チ其一ナリ

禪宗ハ教外別傳ト云ヒ釋尊靈山ニ在リテ花ヲ拈リ以テ大衆ニ示セシニ誰レモ了
解セサリシニ獨リ摩訶迦葉破顏微笑ス釋尊乃チ吾ニ正法眼藏涅槃妙心アリ之ヲ
汝ニ附屬スト爾後經文ヲ以テセス心ヲ以テ心ニ傳ヘ三千餘年其教ヲ相承ス故ニ

此宗ハ據ル所ノ經論ナシ然レトモ其説ハ實大乘ニ據ルモノナリ此宗ノ直指人心
見性成佛ト説クカ如キハ或ハ實大乘ノ三界唯一心心外無別法ト説クヨリ起リタ
ルモノナラン此宗ニ吾人ノ心ハ眞如ノ本體ヨリ開發シタルモノナレバ眞如ノ境
遇ニ到達セントスルニハ敢テ他ノ道ヲ求ムルヲ要セス心即チ眞如ナリト説クモ
ノハ既ニ實大乘ノ論スル所ナリ然ルニ實際上此心ニヨリテ直ニ眞如ニ躰達シ此
心ノ上ニ直ニ眞如ヲ開顯スルヲ得ト説クハ此宗ナリ凡ソ心ニハ心躰ト心象トア
リ心象ハ通常ノ所謂心ニシテ是レモト外物ノ印映シテ生シタルモノナレハ單ニ
之ヲ以テ心ト云フヲ得ス故ニ外界ヲ除ケハ心象ナシ然レトモ既ニ心象アレハ心
躰ナカルヘカラス鏡面ニ事物ノ映寫スルハ鏡躰ノアレハコソ之ニ映スルナレ之
ト同シク心躰アルカ故ニ心象アリ既ニ心象アレハ心躰ナカルヘカラス然レトモ
此心躰ハ吾人ノ知ルヲ得サルモノニシテ心躰ニハ自他彼此ノ差別ナク平等絶對
ナリ此心躰外物ニ動カサレテ智情意ノ心象ヲ生ス故ニ智情意ハ心躰ノ波動セル
有様ナリ今禪宗ノ所謂心トハ心躰ヲ指スモノニシテ此心躰ニ到達セシトカム
ルナリ(心躰ノ有無ハ既ニ理論宗ニ證明シ盡シタルヲ以テ此ニハ講スルヲナシ)而

シテ此宗ノ心躰ニ達スル方法ハ不立文字ト唱ヘ經文ハ月ヲ指ス指ナリトシテ之ヲ排斥シ經文ニ依ラス道理ニヨラス又智情意ノ心象ニ依ラスシテ單刀直入心躰ニ達セントスルナリ然ラハ智情意ニ依ラスシテ直ニ心躰ニ捉フルヲ得ルカト云フニ元ト心象ハ外界ノ縁ニ誘レテ起リシ者ナレハ心躰ニ達セントスルニハ先ツ心象ヲ沈靜セシメサルヘカラス恰モ水ノ本躰ヲ見ントセハ波ヲ靜ムルニ如カサルカ如シ故ニ此宗ニハ坐禪ヲ用フ坐禪ハ心象ノ波ヲ靜メテ心躰ヲ浮ハシムルモノナレハナリ然レトモ單ニ心象ノ波動鎮靜シテ心躰ノ開顯スルノミニテハ是レ死物ナリ禪宗ノ悟道ハ心象ヲ靜ムルノミニアラス心躰ヲ活捉スルナリ故ニ此宗ニハ我心一度死シテ復タ蘇スト云フ其再生ノ點ニ至ルヲ以テ緊要トス而シテ其再生スルヤ復タ此ニ智情意ノ作用ヲ起ス然レトモ智情意ニハ二種アリテ外物界ニ對スレハ有限性トナリ内心界ニ對スレハ無限性トナル故ニ智情意ハ有限中ニ無限性ヲ帶フルモノナリ智ヲ以テ云ヘハ吾人ノ智ハ常ニ相對差別ノ上ニ作用シテ無限絕對ノ躰ニ及ハス無限絕對ノ躰ハ不可知ナルカ故ニ吾人ノ智力ノ之ニ到ルヘキ理ナシ然レトモ相對ノ裏面ニハ尙ホ不可知ニ向テ研究セントスル傾向

ラ有ス是レ智力ノ有限性中無限性ヲ帶フルヲ以テナリ情ヨリ云フモ情ハ常ニ相對差別ヲ感スレトモ其中ニ又一種高妙ノ無限ヲ感ス吾人ハ暴雨大風ニ會シテ恐怖ノ情ヲ起スモ其中ニ又無限ノ感ヲ生シ玲瓏タル月ヲ眺メテハ又天地ノ無限高妙ヲ感ス又意ニ於テモ之ト同シク有限界中ニアリテ無限ヲ捉ヘントス是レ皆一方ニハ有限性ナルモ他方ニハ無限性ナレハナリ禪宗ハ坐禪ヲ以テ心象ヲ靜メ心躰ヲ浮ハシメ更ニ再ヒ心象ヲ起ス然レトモ此心象ハ無限性ノ智情意ナリ禪宗ハ智情意何レヲ取ルカト云フニ意ヲ取ルモノナリ智ハ佛教中何レノ宗旨モ説ク所ニシテ法相天台ノ如キ皆無限性ノ智ヲ主トス淨土門ハ之ニ反シテ無限性ノ情ヲ取リ禪宗ハ無限性ノ意ヲ取ルナリ即チ禪宗ハ大意力ニテ自己ノ心地ニ眞如ヲ打開シ來ルナリ故ニ禪宗ヲ稱シテ意宗ト云フモ可ナラン

日蓮宗

日蓮宗ハ天台宗ヨリ切出シタルモノニシテ同シク法華經ヲ以テ本經トス法華經ニハ權實本迹ト云フヲ説ク權實トハ釋尊成道シテ直ニ華嚴經ヲ説キ玉ヒシモ其說高尙ニシテ之ヲ解スル者ナカリシカ爲ニ更ニ小乘淺近ノ法ヲ示シ漸次大乘

深遠ノ法ニ及ヒ四十餘年ヲ經テ始メテ釋尊出世ノ本懷タル法華眞實ノ教ヲ説ク故ニ經ニ四十餘年未顯眞實ト云ヘリ之ニ依テ法華爾前ノ諸教ハ權假方便ナリト貶シ法華經ヲ以テ眞實トス然レトモ之ニ閉會アリテ法華ニ至レハ前ノ方便モ亦眞實ナリ何トナレハ爾前ノ諸教ハ眞實ヲ説クノ階梯ニシテ方便ニヨリテ眞實ノ顯ルトセハ方便モ亦眞實ナラサルヘカラス

本迹二間ハ法華ノ最モ緊要ナル點ニシテ迹門トハ釋尊ノ此世界ニ降誕シ人間界ノ順序ヲ追ヒ成佛得道シ玉フテ云フ即チ迹門トハ舊迹ニシテ迹門ノ佛ヲ始覺ノ佛トス然ルニ之ヲ本門ヨリ云ヘハ釋尊ノ佛タル今日ノ新佛ニアラス久遠劫來本覺ノ佛ナリ迹門ハ差別ニシテ本門ハ平等ナリ之ヲ吾人ニ例スルモ今日人間トシテ世界ニ住スルハ迹門ニシテ其本地ノ眞如ヨリ開顯セシハ本門ナリ此本迹ニ就テ優劣ノ異論アリ即チ本迹一致トスルモノト本勝迹劣トスルモノトナリ是レ日蓮宗ニ一致派不一致派ノ別アル所以ナリ

次ニ日蓮宗一家特有ノ法門ハ三大秘法ナリ三大秘法トハ本門本尊、本門題目、本門戒壇ナリ此三ノ躰ハ妙法蓮華經ノ五字ナリ法華本門ノ佛ハ无始久遠ノ佛ニシテ

本門ノ本尊ハ妙法蓮華經ノ五字ヲ本尊ト立ツルヲ云ヒ本門ノ題目ハ之ヲ修行スルヲ云ヒ本門ノ戒壇ハ之ヲ受持スルヲ云フ即チ心ニ念シ口ニ唱ヘ身ニ行フヲ云フ或ハ之ヲ戒定慧ニ配當シ本尊ハ定題目ハ慧、戒壇ハ戒ナリ此三ヲ以テ即身成佛娑婆即寂光土ナルコトヲ説ク其言ニ曰ク身ハ是レ本佛ナリ(本尊)、心ハ是レ妙法ナリ(題目)、住所ハ是レ寂光淨土ナリ(戒壇)吾人ハ即チ眞如法性ヨリ出テタルモノナレハ吾身即チ佛、此心ハ是レ妙法ニシテ心ニ妙法ヲ具シ妙法ニ心ヲ具ス而シテ本門ノ戒壇ハ世界ヲシテ寂光淨土タラシムルモノナリ

此宗ハ其理論天台ニ均シト雖モ本門ヲ主トシテ之ヲ實際ニ適用スルニ至テ異ナル所アリ天台ニハ戒定慧ヲ説キテ其修行甚ダ困難ナルモ此宗ハ本門ノ道理ヲ妙法蓮華經ノ五字ニ收メ口ニ南無妙法蓮華經ヲ唱ヘ心ニ之ヲ念スレハ即チ佛ト成ルコトヲ説クナリ

禪宗ト日蓮宗トノ區別ハ禪宗ハ經文ヲ以テ不用トシ頓速頓入心躰ノ開現ヲ説クモ日蓮宗ハ法華經ヲ本經トスル故ニ禪宗ノ不立文字トハ異ナレリ又日蓮宗ヲ智情意ニ配セハ智宗ナリ之ヲ應用スルニ妙法蓮華經ノ五字ニ收メ何人ニモ修シ易

カラシムルハ實際ヲ目的トスル故ナリ故ニ智宗ト云フモ天台ニ異ナリ又禪宗ハ主觀ヲ目的トスルモ日蓮宗ハ客觀ナリ勿論日蓮宗ニモ心ハ妙法身ハ本佛ト云フモ禪宗ニ對セハ此外界ヲシテ寂光淨土タラシムルニアレハ客觀宗ナリ

淨土諸宗

淨土門ニ於テハ淨土門以外ノ總テノ宗旨ヲ聖道門ト名ク聖道門ハ恰モ陸路ヲ歩行スルカ如ク自己ノ力ニテ修行シ迷テ去テ悟テ開クカ故ニ之ヲ又難行道ト云ヒ或ハ自力ト云フ之ニ反シテ淨土門ハ恰モ漚車ニ乘シテ行クカ如ク戒法ヲ保タス觀法ヲモ修メス他ノ力ニテ此儘成佛得道スルカ故ニ之ヲ又易行道ト云ヒ或ハ他力ト云フ

通俗ニ所謂難有^{アツカガシ}ト云フ感情ハ聖道門ヨリ淨土門ニアルカ如シ之ヲ例セハ身軀羸弱手足不自由ノ人貧窮ニシテ生活スルヲ得ス他人ニ對シテ生活ノ道ヲ問フニ其人答ヘテ勉強スルニ如カスト云ハ、是レ當然ノコナレハ何人モ熟知スル所ナリ然レトモ身軀ノ羸弱手足ノ不自由ナルヲ如何セン然ルニ或ル仁者アリテ此等貧民ヲ救濟スト聞カハ難有キ情ヲ起スヘシ淨土門ハ所謂難有キ宗旨ナリ聖道門ニ

ハ道理ノ至極ナルヲ知ルモ難有キ情ノ生スルコトナシ然レトモ茲ニ淨土門ニ對シテ一大難問アリ即チ自力ノ修行ヲ以テ成佛得道スルハ敢テ論ヲ待タサレトモ果シテ他力ニ賴リテ轉迷開悟スルヲ得ルヤト云フニアリ此道理ハ蓋シ天台ノ道理ヲ基本トシテ立テタルモノニシテ天台ニハ空假中ノ三諦ヲ説キ此世界ハ空ニシテ假ナリ假ニシテ空ナリ故ニ中ナリトス既ニ中ト云フモ空假ノ外ニアラサレトモ中其者ニ空假アリテ空假ハ表裏ヲ爲スモノナリ恰モ一葉ノ紙ニ表裏アルカ如シ唯紙ト考フレハ表裏ノ別ヲ見サルモ實際上之ヲ見ントセハ何レカ一面ヲ見サルヘカラス即チ中ニ達セントスルニハ空假孰レカーヲ釋ハサルヘカラス此空ハ平等ニシテ假ハ差別ナリ天台宗ハ道理上ヨリハ平等ヲ説クヲ以テ煩惱即菩提生死即涅槃ト云フモ差別上ニアリテハ煩惱ハ菩提ニアラス此土ハ極樂ニアラス故ニ其宗ニハ種々困難ナル修行ヲ設クルナリ是ニ於テ天台宗ハ理論ヲ平等門ニ立テ實際ヲ差別門ニ立テ日蓮宗ハ理論實際共ニ平等門ニ立ツルナリ而シテ淨土門ハ理論ヲ差別門ノ上ニ立ツ故ニ淨土門ニハ此土極樂ニアラス我身佛ニアラストシ吾心ノ外ニ佛アルコトヲ説ク是レ即チ阿彌陀佛ナリ此佛ヤ無量壽無量光ニシテ

壽命モ智慧慈悲モ共ニ限りナシ諸佛中ノ法王タリ而シテ此佛ハ西方十萬億土ヲ
過キテ一世界ヲ建立ス之ヲ淨土若クハ極樂ト云フ

禪宗ニハ我心ヲ離レテ佛ナシトシ日蓮宗ニハ此世界即チ佛土ナリトス然ルニ淨
土門ニ外界ノ佛ヲ立ツルハ如何ナル道理ナルカト云フニ是亦因果ノ關係ヨリ生
スルナリ吾人若シ今日ニ十倍セル善因ヲ修セハ今日ニ十倍スル善果ヲ得ヘク百
倍ノ因ヲ植ウレハ百倍ノ果ヲ得ヘシ今日ノ人類ハ決シテ最上ノ者ニアラスシテ
人類以上ニ位スルモノ尙ホ多シ又世界モ地球ノミナラス地球以外ニアル者無數
無量ナリ今此理ヲ推究スルトキハ人類ヨリ遙ニ優レタル躰アリト云ハサルベカ
ラス又人類ヨリ優レタル者アリトセハ最上至極ノ者モ亦存在セサルヘカラス其
中最勝無上ノ者ヲ假ニ名クテ阿彌陀佛トス然ラハ此阿彌陀佛ノ力ヲ藉リテ果シ
テ成佛スルヲ得ルヤ否ヤト云フニ抑モ吾人ニハ眞如本覺ヲ有ストスルトキハ吾
人ハ修行ヲ積ミテ眞如ノ德ヲ開顯シ得ラル、ノミナラス吾人ノ心ハ此眞如ニ通
スルモノナリ然レトモ其通路タル孔口甚タ狭クシテ容易ニ眞如ニ達スルヲ難シ
故ニ眞如ニ達セントスルニハ其孔口ヲシテ開大セシメサルヘカラス而シテ孔口

ヲ大ナラシムルハ修行ノ力ナリ然ルニ淨土門ニヨルニ眞如ト心トノ通孔ニ一ノ
蓋アリテ吾人ノ力能ク之ヲ開クヲ得ス故ニ此通路以外ニ眞如ニ達スル道ヲ求メ
サルヘカラス例セハ地球内部ニ火アリテ此火發シテ山上ニ噴出ス吾人ハ自ラ地
球内部ヲ開キテ其火ヲ見ルヲ能ハサルモ若シ其火ノ噴火山ニ發スルモノアラハ
之ヲ見ルヲ容易ナルカ如ク吾人自ラ眞如ニ達セントスルモ機根下劣ニシテ到底
及フヘカラス依テ眞如ノ光明ノ外部ニ發揚シタル阿彌陀佛ヲ念シテ其光ヲ我躰
内ニ入ル、ナリ其光ハ内部ニアルモノモ外部ニ出ルモノモ共ニ眞如ノ光ナレハ
敢テ異ナルナシ然ルニ聖道門ハ自ラ内部ヲ開キテ其光ヲ見ントシ淨土門ハ外部
ヲ仰キテ其光ニ接セントス故ニ淨土門ノ之ニ接スルハ吾人ノ力ニアラス全ク阿
彌陀佛ノ力ニ賴ルナリ之ヲ要スルニ此世界ハ眞如界上ニ假立スル現象ニシテ而
モ眞如ヲ開顯スヘキ噴火口ナリ故ニ主觀上ニ眞如ニ通スル道ト客觀上ニ其光ニ
接スル道ト二様アリテ淨土門ハ客觀上ノ道ヲ取ルモノナリ

淨土門中ニハ淨土宗眞宗融通念佛宗時宗ノ四宗アリ其說ク所各多少異ナル所ア
レトモ念佛ヲ說ク點ニ於テハ總テ同一ナリ其中淨土宗ハ差別門一方ニ寄セテ說

14
227

(1011)

ク真宗ハ之ニ多少平等即チ理論ヲ加フ更ニ今二宗ノ區別ヲ述ヘンニ真宗ヨリ淨
土ヲ見レバ淨土宗ハ眞ノ他力ト云フヘカラス其中ニ多少自力ヲ混スルカ如シ何
者淨土宗ハ念佛タニ唱フレハ其唱フル力ニヨリテ成佛スト説クモ真宗ヨリ視レ
ハ是レ已ニ自力ヲ混スルモノトス又淨土宗ニハ慈善ノ如キ諸善行ハ多少成佛ノ
資助トナルモノトス然ルニ真宗ハ此等ノ善行ヲ以テ一切雜行雜善ナリト排斥ス
ルナリ是レ真宗ガ淨土宗ノ差別的理論ニ多少平等理論ヲ加ヘタルニヨル
淨土門ヲ智情意ノ上ニ配當セハ無限性ノ情ニ於テ阿彌陀佛ノ光明ヲ感受スル
ヲ説クカ故ニ之ヲ情宗トス

以上略シテ理論實際兩宗ノ大意ヲ講了セリ僅々數回ノ短時間ニシテ佛教全軀ノ
大意ヲ講スル者ナレハ詳細ニ論述スルヲ能ハス且ツ平生繁忙ニシテ十分ニ講究
ヲ盡スヲ得サリシハ聽講諸君ニ對シテ余ノ深ク謝スル所ナリ

秋田 哲學

佛 學 哲 學 畢

終